



# 明 柔 97,

明治大学柔道部明柔会会報



阿武再び世界へ!  
世界選手権大会  
十月  
パリ



井上オール一本で優勝  
学生体重別選手権大会  
九五kg級



私の好きなものは  
この街にあります。

住宅ローンサービス株式会社  
代表取締役 杉原 構  
〒160 東京都新宿区西新宿8-15-17  
住友不動産ビル6階  
TEL(03)3371-5111 FAX(03)3369-9999



89年ペオグランドで世界選手権／初日に95kg超級を制した小川は、最終日の無差別でも優勝（写真）。計8試合オール「一本」の圧勝で2階級制覇を飾った



87年エッセン世界選手権／無差別級でコードン（イギリス）を降し（写真）、史上最年少19歳7カ月で世界チャンピオンに輝く

## 我々が 小川 プロの途へ 新天地での活躍を祈念



95年全日本選手権7回目の優勝



89年全日本選手権／21歳で初の日本一に



昭和61年度 第4回全日本大学柔道選手権大会



道場での優勝祝賀会で

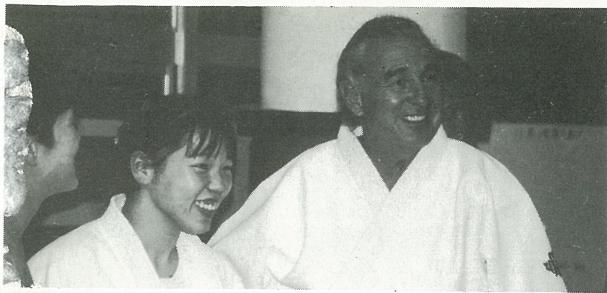
## ありがとう小川直也

十九歳で世界、二十一歳で全日本を制覇、以来重量級の頂点にあって、世界選手権無差別級三連霸。全日本選手権五連覇を含む七回の優勝と小川時代を築いた。

（株）新日本プロレス（坂口征二代表取締役）  
に入社。平成元年卒

# 朋アリ遠方ヨリ来タル

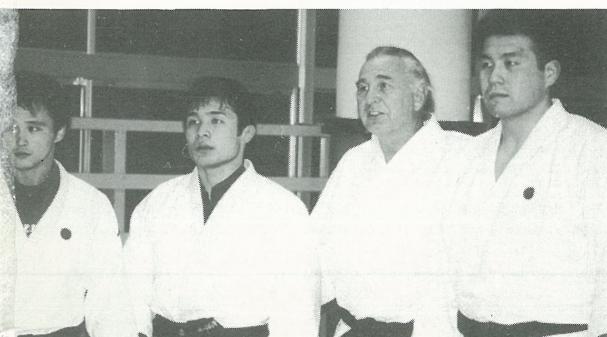
名誉博士号を贈られた元部員  
ベン・キャンベル米国上院議員



阿武選手と



明大ネーム入りの稽古着を開主将から贈られる



園田、秀島、大鹿のコーチングスタッフと

## 明柔会（明治大学柔道部明柔会会報）目次

### 巻頭言

監督交替

新監督に吉田秀彦氏

これから明大柔道部

監督退任にあたって

前監督 重松 祐之

新年生紹介

マネージャー便り

奨学金ご支援のお願い

今春の慶事 元気やつてます

隨筆と近況

近況と思い出

大阪における全日本学生優勝大会を振り返って

勝つてこそ光る事

同期会

同期会

山口 友考

川村 侃

森 幸夫

25 23 23 22 21 15 12 3 2 1



## 卷頭言

# “ほんね”と“たてまえ”

百瀬 恵夫

人間が社会生活をしていく中で、何が本音で、何が建前かを見分けることの難しい局面にぶつかることがよくある。

嘘も方便という意味とも違うようだ。直接の当事者である場合には、相手が本音をいつているか、建前をいつているかの見分けは比較的容易である。しかし、これとともに、多重人格の人間や欺瞞や詐欺にも類する人間に出会うと、実に巧みに本音と建前を使い分けてもつともらしいロジックを組み立てる。当事者でも見分けがむずかしいほどの巧者に出会ったら、ましてや第三者は計り知るところではない。それがもつともらしく一般化していくと、本当の音色が消えて、表向きの建前が通用してしまう。無知の第三者をまき込むには、もつともらしく一歩進んでやる。

一体何が正しくて、何が間違っているのかは、真実の見極めができない限り判断はむずかしい。しかし、真実は一つであること間違いない事実である。それが、人間社会という複雑な様相にまき込まれると、玉虫色になつたり、灰色になつたりして白黒がはつきりしなくなる。また、このような状況をうまく利用して、自らを正当化したり、他人を追い落とすための手段に使う人間もいる。このような人間は、やがては真実の前に罰を受けることになるが、その前に巧みな欺瞞によつて被害を蒙つた人はたまらない。

嘘も方便くらいまでが許される社会の物差しであつて、人を罪人に仕立てるような建前の欺瞞は断じて許し難いことである。ましてやスポーツの世界において、あるいはスポーツにかかる社会にはあつてはならないことである。

正論とか正義は、上段にふりかざしたりするものではない。しかし、何が正しいか、何が真実かを常に良心に問いかけながら、自らの行動規範を守ることがピューマニストとしての道だろ。人間が社会生活を続ける限り、人間関係を保つていかなくてはならない。他人を傷つけることは、自らが傷を負うことよりもつらいといふ。最低限度のハドメをもつて人間社会を築けば、神は眞の道へと導いてくれるだろう。自らを正当化する前に、他人に対する思いやりの心をもつこどが自らを救うのである。

本音で語り合える人間関係、本音が通用できる社会、欺瞞が通用しない社会、二十一世紀に向けて期待したい私の初夢である。

道場往来

名誉博士になつた元部員（ベン・キャンベル上院議員）

カラーソ道着は果たして大問題か

特別寄稿 健康の話しだ

朝日新聞運動部

竹園 隆浩

30

第46回明柔コンペ報告

平成8年度明柔会収支決算報告書

得意技の解説（私腰）

藤原 敏生

33

平成8年後期の記録

編集後記

得意技の解説（私腰）

藤原 敏生

38

平成8年後期の記録

編集後記

藤原 敏生

48

藤原 敏生

38

藤原 敏生

33

藤原 敏生

30

藤原 敏生

27

# 新監督に吉田秀彦氏

四年間にわたり部を統率してきた重松裕の監督が勤務先JRAの人事異動とともに、四月一日をもって退任した。任期中、優勝こそなし得なかつたが、二〇数名の部員を鍛え上げ優勝一、ベスト4、三、と常に優勝戦線にチームをおいた氏の手腕は高く評価される。幹事会は後任に吉田秀彦氏（平成三年度、新日本製鉄株）を推薦し、吉田氏はこれを受諾した。

## 御挨拶 吉田秀彦

吉田秀彦



四月から監督になりました平成3年度OBの吉田秀彦です。  
新日本製鉄本社に勤務しております。  
明柔会から就任の要請があつた際、弱輩故に少なからず戸惑つたのですが、柔道への恩返しが少しでも出来るのかと思い受けました。皆様の御指導、御鞭撻の下で頑張つています。旧倍の御支援をお願いする次第です。

私の場合、現役選手としての責任も残されており、当面は足のわらじをはくことになるのですが、現役ならではの持ち味を指導に生かせるものと考えております。  
いま道場には毎日十名に近い現役の若手OBが来て学

生に稽古をつけている。前監督の重松先生が敷いてくれた路線ですが、この学生とOBの一休感は明治の大きな財産であります。若手OBと一緒にになって学生に胸をさせるのは私が現役であればこそその強みです。  
最近はまた、OB以外の実業団や警察のメンバーもよく稽古にまいります。この交流も大切にしてゆきたいと思います。  
御承知のように部は昨年、創部九〇年を祝いました。柔道界の歴史に明大柔道部がいかに開拓ってきたかを認識しているだけに責任の重さを感じざるを得ません。ともあれ、先輩諸兄の更なる御協力を得て責任を全していく所存です。

以上簡単ですが監督就任の挨拶といたします。現役を終られた先輩方も時には道場へ足を運ばれ、学生たちに声をかけてやつて下さい。

## これからの大柔道部

### 監督退任にあたつて

前監督 重松 裕之

#### 「はじめに」



ましの手を差し伸べて下さった両先生へは強い恩義を感じていたこともあり、「これで固辞すれば男がするだ」との思いから助監督就任をお受けしました。

また、原先輩の跡を受け監督となる際にも絶余曲折がなかつたとは言えない。助監督となつた時点から、原監督が退く時には私も退くと共に決め、また周囲にもそう宣言していました。

無論助監督ならまだしも明大柔道部の看板たる監督の大役なぞ私に務まるわけがないし、周りが許すはずもないと確信していた。

しかしながら、原先輩の退任が本決まりになり、後任監督の候補が私を含めて幾任か取り沙汰されるに至ったが、当初傍観していた私の気持ちにも変化が起きた。当時、部のあり方を巡つて様々な主張が錯綜し、誰が監督として舵を執つても苦難を強いられるることは明らかな状況にあった。そうしたなか、競技実績に乏しく若輩の私が監督となることは、いちサラリーマンとしてもマイナスであろうし、力量を危惧する声に反してまで監督になりたいとは正直思つていなかつた。しかし一方では監督・助監督とともに引いてしまつて学生達はどうなるのか、少なくとも私は監督として推す声に対しても真摯に受け止めなければ無責任ではないのか、とも考へるようになつた。

夢にも思つていなかつた監督を引き受け決心を、どの段階で付けたかは自分自身定かではないが、私を推して下さつた方々からも『強く争うとは言わないから、上手くやつてくれ』と言われる様な状況下で、私への配慮からの言葉であろうとにして職場の先輩・上司に恵まれて会社の仕事にも慣れ、社会人として漸く独り立ち出来ようかという時期でもあつたことから、会社や身内の一部からは助監督就任に反対の声も強かつた。私自慢も思ひもかけない大役であるがゆえに一度はお断りする決意を固めたが、姿勢範と原先輩からの直々の要請を受けに至つて、ある個人的な出来事で消沈している私に温かい励

判つてはいても、「なにくそ必ず強いチームを作つてやるぞ」との気持ちが強かつたことは事実である。

「監督を引き受けることにしたから」と女房に告げたら「どれほど大変なことなの」と問われて、「今までと大差ないよ」と大嘘をついてしまったことも、今となつては笑つて話せるが、32才の若さゆえに出来た決断であつたのかもしれないとも思う。恥とお叱りを受けるのを承知で、不遜で勝手なお話しを述べて頂いたが、在中のことを冷静に振り返るには私自身のなかでまだ時間が必要でもあり、私事に近い独白をこれ以上ながながと続けることは避けたいと思う。

かわりに、助監督在任中に考え感じたことのうち、これから明大柔道部を考えるべきになればと思うことを述べさせて頂きたい。

### 〔明柔を取り巻く周辺状況〕

明大柔道部を取り巻く周辺状況は、社会全体の様々な事柄とともに大変速いスピードで変貌しつつある。そして、その現実は非常に厳しいものであり、早急に適切な対応策を講じなければ「強い明大柔道部」を維持することが不可能であることを、われわれOBが等しく認識する必要がある。

まずは、柔道界または、柔道そのものの変貌とこれに対する社会認識（二一ズ）の変化、さらには、部の運営維持に直接的な影響を及ぼす大学当局側の体育会活動への姿勢と、高校柔道界の構造、意識変化といった周辺状況について述べてみることとする。

蛇足ながら、重量級こそ真のチャンピオンという見解は、体重無差別試合理想論と矛盾することは言うまでもなかろう。

そもそも、その存在意義自体に違いがあるからこそ、オリンピックとはルールも条件も明らかに異なるのであるう全日本選手権を、最重量級に限りその選考会としているとの矛盾は、守るべき価値や伝統と周辺状況の変化に対応して改めるべきものとの区分けが理論的に成されていないことの事実である。

また、一本を取る柔道技を修得することが現行ルールの試合であつても優位性を持つことは否定しないが、ボーリングを意識した試合運びやはじめから効果や有効を狙つたりスク回避の技が、重要な戦略テクニックとして存在していることも事実である。

問題は、こうした現実の変化に目を瞑り、または回顧趣味的な精神論に固執して対応策を先送りにしてきたツケが、整合性を持たない試合スケジュールや過剰な試合数を選手に課す結果となつており、現場の指導者や現役選手に無用の混乱と負担を強めていることがある。

この様な現実的な状況の変化は、当然のことながら柔道の志望動機の変貌にも直結している。「強くなりたい」との単純動機は不变であつても、小さな体でも大きな相手に勝てるから」という柔道の魅力が「格差はルールによつて平等化されてしまうから不利ではない」に変化していることも見逃せない。

一 柔道界とこれに対する社会ニーズの変化

#### （競技柔道と若年層世代の意識変化）

多くの価値観がドラスティックに変化し多様化する社会情勢のもと、柔道界の価値基準だけが不变では有り得ない。もちろん、「精力善用」「自他共栄」の理念や「…もつて世に寄与するが柔道修業の究極的目的である」ことは否定すべくもないが、武道・文化としての柔道の有り様や競技柔道のあり方にについて、柔道界全体がこの根源的問題に具体的で整合性のある答えを有していると言えるだろつか。

スポーツや柔道に対する国内外の社会ニーズの多様化・変化に日本の柔道界が組織としての的確に対応する能力を持ち合わせていないことは、国内ルールと国際ルールが混在する現状やカラーリ道衣問題だけを見ても明らかであろう。

諸外国が「スポーツ」としての柔道に見いたす価値基準が明快であるのに対し、国内では柔道への扱い方や立場によって組織レベルでも個人レベルでも主義主張に差異があり、統一した（合意が形成された）価値基準はないに等しい。

少なくとも、競技柔道の価値基準について言えば「体重無差別の試合こそ柔道のあるべき姿」という規範は理想論としては社会にも理解されようが、現実論としては社会的に意味を失つたものが主流となつてることが現状なのである。

そこで、スポーツに対する社会認識（二一ズ）の変貌に目を向けると、学校教育の一環としての認識が制度としては低辺を支えていながら、一方では集客能力の高いスポーツや世界レベルで活躍出来る一部の選手については、アマチュアとプロのボーダレス化が顕著であり商品価値としてのニーズが高まるという二重構造化の様相を呈している。

既にプロスポーツとして定着している野球やサッカー、相撲については学校を卒業する時点でプロ選手としての道か、アマチュアのままであるか、または競技者を終えるかの選択が可能であり、こうした二重構造化の様相を呈している。

しかしながら、柔道界では先に述べたように現役選手の価値基準が他のスポーツと同質化していくながら、プロ機構が存在しないために一流選手であつてもその大部分は柔道とは別の職業を持つことが必要となる。もちろん、現役中は競技に専念出来る環境を与えられる場合も多いが、将来にわたり柔道だけでメシを食うこととは出来ない。

世界のスポーツ界は様々な意味でプロ化しており、指導者も選手もその競技だけで生活が成り立つ構造を有していることが高い競技力に不可欠の条件である。

さて、こうした柔道界・スポーツ界を取り巻く状況変化をあらためて確認したうえで、他の強豪ライバル校と明大柔道部の比較による検討事項の洗い出しは後述するとして、次に明大柔道部の運営により直接的に影響を及ぼす大学側の体育活動への姿勢と、高校柔道界の構造・意識変化について述べてみる。

## 一大学側の体育会活動への取り組み姿勢――

### (入学の困難性と経済基盤の脆弱性)

現在の明治大学の入試における学力偏差値の高さがどれ程のものは、学齢期の子弟を持つ方ならよく存じであるが、ある学部の偏差値は一橋大学のそれより高く(受験科目数に違いがある)ので単純比較はできないが、わが母校は入試については超一流・難関校なのである。学業優秀な後輩が多くなることは喜ばしく嬉しいことであるが、学業以外で母校に貢献してきた体育会に対する学校側の理解・支援体制は整っているとは言い難い。体育推薦入試制度では、高い競技実績と一定の学力が求められるし、少ない全体の合格枠を各体育会で取りあつているのが実情である。また、入学後の単位修得においても均一的な学力判定が主流となつており、良い意味での幅やおおらかさが失われている。文武を両立させることの意義に異を唱えるつもりはないが、一方のハーフドールの現実離れした高さは、現状認識に欠けた非現実的な理想の押し付けでしかない。他校は体育学部を中心で部員が在籍し、有り難く言えば卒業

もちろん、全ての親や指導者が入学の条件ばかり気にするわけではないが、推薦入試制度も他校に比して厳しく、入学後の学業に対する各学部のハーフドールも年々高まるなか、柔道さえ強ければ周囲に大事にされた子供をあえて厳しい環境に送り出そうという親は少ない。昨今の教育現場の現状や、既に中学校時からのスクウト活動が常識化していることを考えれば親の発言権が強まっていることは容易に想像されるだろう。

O.B.に高校の指導者が稀少な明柔としてはデメリットばかりとは言えないのではないかと思われるかもしれないが、えてしてそつた親ほど自らの経済的メリット(学費免除の条件)ばかりにこだわる傾向が強い。

加えれば、有名選手や伝統への憧れだけで進路を決定することも稀と言つていい。こうしたなか、他校を制して有望新人をより多く獲得することは困難を極めている。

### 〔これから明柔〕

#### ――強い柔道部のために――

これまで述べた厳しい状況変化に、明柔(柔道部とO.B.会)は今まで何ら対応策を講じなかつたわけではない早くから奨学金制度を確立し、スクウト委員会も設置されている。合宿所建設をはじめとして、事ある毎の明柔の結束力と行動力は他

し易い環境(言い換えれば稽古に集中し易い環境)にあるのに對し、既述したように本学は各学部とも体育会の学生に厳しい教員が確實に増加しており、試験が出来ないからとまじめに出席せざれば、少ない部員が全員揃つて稽古出来る日は日曜日だけとなる。強化選手が全柔連からの派遣要請により、遠征や合宿に参加する場合に所定の手続きを経ても公欠扱いにするか否かは教授の裁量に依るのがわが校の現実なのである。

さらには、他の強豪ライバル校では、学費免除制度をはじめとして部の運営費用に関わる資金を学校の制度として潤沢に有しているのに對して、わが校にあつてはいままで体育会活動への学校当局からの経済的支援体制は無いに等しい。昨今の時代背景のものでは、遠征や合宿をはじめとする部の活動に少なくない資金を要するのは論ずるまでもないに、資金面もO.B.会に全面的に頼らざるを得ない状況であることは周知のとおりである。

――高校柔道界の変化(スクウト活動の困難化)――

さて、抜群の素質を持った有望新人(高校生)のスクウトに各校が凌ぎを削るのは今も昔も変わらないだろう。しかし、少子化的時代のなかで親が子に掛ける关心の持ちようが様変わりするなか、高校の指導者もいかに多くの生徒をより良い条件で進学させるかに腐心する状況下では、資金がものを言う場合が多いのも残念ながら現実である。

しかしながら、現状はこれまで以上に難しいのである。

柔道界や社会ニーズの変化に対し、他校は超一流選手を教職員として学内に残すこと、専門性・プロ志向のニーズに応え、併せて指導者の生活基盤を設立することで部の強化をしている。また、こうした現代の専門家が統括団体である学生柔道連盟や全日日本柔道連盟の主流を占めつはあるのは、自然の流れであろう。

また、大学側の支援体制が好転することはこれまでの経緯からも考えにくく、少なくとも部員の数が増加することは期待出来ない。優秀な人材を確保する目的のスクウト活動は、付属高校とO.B.の高校指導者が希少な存在であるという構造上の問題に加えて、資金的問題を解決しないとその困難性は高まる一方である。

明大柔道部のあるべき姿が如何なるものかについては、まさしく個人でその思いは異なるであろう。ここで理想論を断言出来ようはずもない。しかし、少なくとも「強い柔道部」を維持することを求めるならば、O.B.会が強力な結束力と正しい現状認識能力を持つことを前提に、以下の点についての具体的な取り組みが求められる。

## 1. 強化目標の絞り込み

部員数だけから判断しても、全ての階級の強化と団体戦を前提とする無差別級の強化の両立は至難の技である。入学制度やスカウト活動の困難性から判断しても目標試合(強化目標)の絞り込みを行う必要がある。

## 2. 指導、運営体制の分担化

これまでの監督にはオールマイティーの活動が求められてきたが、周辺状況の変化、複雑化に対応すべく、過去の慣習やしきたりに捕らわれず指導、運営体制の分担化を行う必要がある。具体的には、監督は①道場での指導と試合に関してのみ責任を持ち、②合宿所生活・学業指導③スカウト活動④大学側・他団体等との連絡、調整については責任の分担化を図る。この実現のためには監督の負担を軽減することを前提に、若手OBの協力体制を掘り起こすことともにその立場、権限の明確化を図り、部運営に重要な役割を果たすOB会事務局の権限の確立も必要である。また、スカウト活動の負担の大きさと大学側との入試に関する折衝の重要性を考えれば、既存システム(スカウト委員会)にこだわらない思い切った責任分担が必要ではなかろうか。

的な影響を及ぼすことは明白であろう。  
OB会の結束力の源は、母校や柔道部への愛着や情熱といった個々人の気持ちに依るところが大であるからこそ、ややもすると議論が感情論や抽象的な理想論に陥る危険性をはらんでいることも否定できない。  
部の運営や、それに携わる人選の検討については、今後も冷静でなおかつ柔軟・自由な発想で取り組む姿勢を維持して頂きたい。

## 〔おわりに〕

振り返れば、監督在任中は本当に多くの方々に支えられた。

お世話になった方のお名前を記そうとするOB名簿を丸ごと添付しても足りない。なかでも、姿百瀬両先生をはじめ部の運営スタッフとしてお力添え頂いた小林先生、小山君、また前任の原先輩としてOB会事務局長の浜本義典先輩には重ねて感謝申し上げたい。

また、JRAの理解や職場の支援がなければ監督業を全うすることは不可能であったことは言うまでもなく、会社には随分とわがままを聞いて貰ったことも記しておきたい。

さて、後任の吉田君の人となりや輝かしい実績は周知の通りであり、監督・指導者としての能力にも間違はないいないだろう。しかし、われわれOBは彼の成長をただ待つのではなく、支え、そして大成させる責務がある。

## 3. 指導者の専門性の確立

将来の指導者候補の育成と確保を念頭に、専門家としての道を確保すべく具体的な研究に着手する必要がある。ボランティアや二足のわらじ状態では、現状の負担増加には対応しきれない。

## 4. 経済的基盤の確立

特に、奨学資金の建て直しは急務であるが、この問題に関しては既に委員会幹事会で検討が成されているのでここで触れる必要はないと考える。OB諸氏には、奨学資金確立は合宿所建設とともに重要な課題であることを是非ご認識頂きたいと思う。

また、奨学資金の他にも部の運営費用は過剰しており、OB会費のみに依存するのではなく、慎重を期す必要はあるが父兄にも何らかの負担をお願いすることも検討して良いのではないかろうか。

以上、随分と、勝手なことを述べさせて頂いたが、もし事実認識に誤りがあれば甘んじてお叱りを頂戴したい。  
いずれにしろ、OB会の存在なくして部の運営・発展は成り立たず、OB会の体质なり考え方かたが監督を通じて学生に直接

吉田君は、新日鉄の若手社員であり、現役選手でもある。これまでの監督とは異なった困難に直面することも多いであろう。

吉田君には、周囲の声に惑わされずに、持ち前の明るさで学生を引っ張つて行って貰いたいが、苦しい時には一人で我慢せずに、おおいに助けを求める声を出す勇気を持つことも助言したい。

助力を求める君の声に応じられないOBは、内股で放り投げられても文句の一つも言えないと確信する。

昭和57年度  
JRA日本中央競馬会

了

## 小藤田整骨院

院長 小藤田 勝彦  
(S 40年度卒)  
東京都板橋区弥生町38-7  
TEL 03-3972-0055

## たてかわ接骨院

井上 恒夫  
(S 52年卒)  
東京都墨田区立川3-2-12  
TEL 03-3634-1419

## 大洋

橋本 一郎  
都営地下鉄三田線 蓮根駅前  
TEL (3967) 9863

# 新一年生紹介

野寺真史

熊本県出身

九州学院高校  
一八八センチメートル、  
一一〇キログラム

インターハイ三位  
金鶯旗(団体)三位

福岡県出身  
大濠高校  
一七八センチメートル、  
九五キログラム

インターハイ優勝  
法学部



**中濱真吾**  
広島県出身  
崇徳高校  
一八八センチメートル、  
一一〇キログラム  
インターハイ一位  
Jr.イタリア国際優勝  
商学部



**中富三紀夫**  
福岡県出身  
大濠高校  
一七八センチメートル、  
九五キログラム  
インターハイベスト8  
法学部

**吉永富大**  
熊本県出身  
九州学院高校  
一八二センチメートル、  
八六キログラム  
インターハイベスト8  
Jr.イタリア国際三位  
経営学部



**野中一平**  
熊本県出身  
鎮西高校  
一七〇センチメートル、  
七〇キログラム  
Jr.イタリア国際優勝  
商学部

**芳垣雅継**  
東京都出身  
明大中野高校  
一八〇センチメートル、  
九五キログラム  
関東大会東京予選優勝  
政治経済学部



**奥一生**  
広島県出身  
崇徳高校  
一七二センチメートル、  
七五キログラム  
県、三位  
政治経済学部

**南波宏行**  
島根県出身  
開星高校  
一八四センチメートル、  
八八キログラム  
県、優勝  
政治経済学部



**須磨重文**  
佐賀県出身  
南筑高校  
一七七センチメートル、  
九二キログラム  
福岡県、三位  
政治経済学部



**吉田監督と新一年生**

# マネージャー便り 主務 芦 達也



全国の先輩方にはご活躍、ご健勝のことだと思います。部員を代表して日頃のご支援ご指導に対しても御礼申し上げます。

本年度から、主務の大役を仰せ

つかりました、3年の芦達也です。

主務になつてまだ日が浅く、仕事を覚えきれず監督や先輩方に、たびたび迷惑をおかけしておりますが、副務の池田亮と共に1日も早く先輩方と学生達の橋渡しになれるよう精一杯頑張ておりますのでよろしくお願い致します。

現在部は吉田新監督の下で井上主将以下三十一名（四年7人、三年9人、二年6人、一年9人）で活動しております。春からの活動状況は三年の奥村が昨年の全日本ジュニア78kg級で優勝につづいてチエコ国際でも優勝しました。また四年生の井上主将が念願の正力杯で準優勝、オーストリア国際、三位。（同じく三年の奥村が昨年の全日本ジュニア78kg級での優勝につづいてチエコ国際でも優勝しました。また四年生の井上主将が念願の正力杯で準優勝するなど、まずは活躍を見せております。

これらの結果は監督をはじめ多忙な仕事の合間をぬつていつも道場に顔を出してくださる実業団のOBの方々のご指導があつてこそ思います。

さて新年度から私と副務の池田とで道場宿所の出来事な

4月18日 本日、英国に向け百瀬先生成田を出発。  
ケンブリッジ大学客員教授として一年間英國滞在の予定。お留守の間は、政治経済学専任講師の森下 正先生が部長を代行される。

4月22日

今日は、アメリカ、ロスアンジェルスからなるばる篠原一雄先生が道場に来られた、久々に全員がそろつていて気合いの入った練習を見せることが出来て良かつたと思う。

5月4日 今日は久しぶりに町山成信先生が練習に来られたが道場前の交差点で車がエンストを起こし大変だった、車がエンストしているところを一番最初に気がついたのは吉田監督だったためにかにつけてよく目が行き届く方で、さすがだと思った。

5月26日

昨日行われた、東京学生体重別大会で井上先輩が優勝した。本番の正力杯全日本学生ではしばらく、「優勝」という文字か

どを毎日、簡単な文ではありますがあつてあります。その一部を近況報告として皆様にお伝えいたします。

4月4日

ら離れていた明大柔道部に是非、金メダルをもたらして欲しい、これは他の正力杯出場者も同じである。

6月6日 姿先生がペースメーカーの交換のため慈惠医大に入院されているので本日浜本（義）先輩四年生吉田（剛）と共にお見舞いに行く。姿先生は古いペースメーカーを私達に見せて下さるなど、とても元気な様子であった。一日も早く退院されまた皆に稽古をつけてくださるよう祈念する。

6月24日 昨日どうとう井上主将が日頃の努力を実らせ全日本学生体重別選手権で優勝した。それも東京都予選からオール一本勝ちというすばらしい内容だった、この勝利をバネに秋の全日本学生優勝大会では、是非とも優勝できるよう部員一丸となつて頑張つていただきたい。

これからも学生達の生活を日誌の一部から皆様に紹介するようになります。

最後に今年から全日本学生優勝大会が大阪から東京に戻り武道館で開催されます。昨年は、準優勝と残念な結果でしたが、皆様のご健康、ご活躍をお祈りいたします。

商学部 三年

以上の他に春からの監督のスカウト出張に際して格別の協力をいたいた地元の先輩方、また東京から監督と一緒に現地まで出向いていた先輩方をご紹介しておきます。

青森 沼尾 啓一先輩 群馬 宮下潔先輩 新潟 杉原 構・石本 義明先輩  
広島 中谷 雄英・川口 孝夫先輩 京都 山本 忠史先輩

慰問品とご氏名	
吉沢 修一	先輩
中島 平人	お茶みかん 精肉
市島 大一郎	家具
河田 恵吾	菓品
千葉 宏之	鮭魚
鈴木 貴晶	薬品
岩田 久和	洗剤、そうめん ラーメン
早田 豊	食品
伊藤 義一	
吉水 丸山 彰一	精肉
朝田 紀明	
北瀬 曜一	
岩田 久和	
栗原 三千男	
藤原 敬生	
堀田 正志	
山田 広治	
大阪明柔会	
中濱 真吾	父兄
	商品券

# 奨学資金「ご支援のお願い

奨学金委員会委員長 高田 誠之助

明柔会々員の皆様には、日頃より、母校明大柔道部発展のため、物心両面において、ご指導、ご支援を賜わり有り難く厚く御礼申し上げます。

特に、先の、合宿所建設につきましては、計画段階の平成4年3月から、完成の平成6年1月、そして最終募金の平成7年12月まで、建設委員会の事務局長を仰せ付かりましたが、姿先生の二、〇〇〇万円をはじめとして、皆様方の絶大なるご協力のもと無事目標を達成致す事が出来、責務の一端を果たせました事が、昨日の事の様に思い出されます。

心より重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、標記、奨学資金の件でございますが、制度発足時より、多額のご寄付を頂戴しております。篤志会員の松田、三船、伊澤の各先輩、並びに田中、大國君が、この2年の間に、あいついで逝去され、故人諸氏からのご寄付は、年間約三〇〇万円になつております。

また、既に、ご報告の通り、合宿所建設時の余剰金三、〇〇〇万円を財務体制の整備に役立てようと



の期待のものと、基金として運用している訳でございますが、昨今の金利安では、その目的とは程遠く、財政は極度に逼迫しているのが実情でございます。

殊に本年は、有望な新人が9名入部し、奨学金対象者も3名増員され、その不足分は、四〇〇万円程になつております。部にとりましては、非常に目出度く、有り難いことですが、強い選手を勧説致すには、各大学間の競争を厳しく、入学金、授業料等の援助は、最低条件だと言わわれています。

野球部、ラクロス部は、メジャースポーツとして、全日本学生大会等々の、入場料收入の一部が部にはいり、また応援する父兄からの寄付も多く、経済的には、全く問題なしと伺っています。自然の流れにそつて、入部希望者を座して待ち、Bクラブ等の援助は、最も条件だと言わわれています。

諸先輩、後輩諸君のご意見をお伺いするに、昨年、創部九〇周年を迎える日本はおろか、世界に冠たる明大柔道部の衰退は許されません。自然の流れにそつて、入部希望者を座して待ち、Bクラブ等の援助は、最も条件だと言わわれています。

まずもつて、この経済的窮状を皆様方に理解いただき、その対応策につきましては、委員長をはじめ、神田幹事長、常任幹事、学生幹事、地方支部幹事、奨学金委員会、事務局の皆様方のご協力のもと、窮状打開に一心の努力を致す所存でございます。

二十一世紀に向けて、明大柔道部、明柔会が益々発展いたしますことを祈念し、諸兄の自今変らぬご支援をお願い申し上げる次第でございます。

## アラブの旅

坂本 翔 正

厳寒の一月二十七日、国際交流基金の派遣による日本柔道文化親善大使団が中近東へ向けて成田を発つた。  
一行は团长の小生他六名（警察官二、教員一、会社員二）。  
クエート、サウジアラビア、カタール、アラブ首長国連邦、トルコ。以上5カ国の巡回指導である。同使節は小生にとつて二度目、前回は一九八八年、ネバールとインドネシアを訪れていたる。

### クエート国

イラク軍侵攻の戦災から復興したクエートの市街は活気に溢れていた。

お金持ちの國らしく外国からの出稼労働者が各所で働いている。インド、パキスタン、ミャンマー、フィリピンなどからの人々で、街などに立つと、その数の多さから中近東にきた、というよりも日本に近いアジア圏にいるという感覚である。

日本大使館主催のレセプションに臨む。その席で柔道協会会長でJ-JFの委員でもあるシエーカ・リフア氏から受けた質問は示唆的であった。日本は審判のミス、また判定に圧力をかけるような観衆のシユブレビヒコールなどにペナルティを科す等

の対策を持つているのか……」というもののである。私は率直に全柔道の見解を述べた訳だが、通訳にあたつていた川島日本大使ともども氏が柔道の現状を実によく觀察しておられることに驚いたことだった。氏は王族の一員でもあるが、私の経験からいえば、このような国の中の高い地位にある人たちの質問や挨拶は一般的儀礼的なものに終始するのが通常である。レセプションではその他様々な質問を受け柔道の国際化をまた改めて考えることとなつた。

一方柔道の技術面では欧州型が浸透しているため攻守とも上半身の力が主体の柔道である。したがつて体捌きが疎かになるから、例えは乱取中に私の小内刈などは気持ちよくらいかる。基本である「姿勢、体捌き、受身」の重要性を認識させ、それを競技力の向上につなげるべく指導する。

### サウディアラビア王国

今日のサウディアラビア柔道の発展は明柔三九年度OBで、全柔連事務局長、鳥海又五郎氏の力に負うところが多い。

氏は一九七六年から八年間ナショナルコーチとして滞在、指導にあつたつている。

首都リヤドでの指導はリヤド電子学院柔道場で一日間にわかつて行われた。この道場は日本のJICAの援助で建てられ、二百畳、付帯の設備も整っている立派なもの。同学院は近代化を目指す国の政策をうけて建設された大学で、東京都立高専の校長をされ



サウディアラビア 大会表彰式

この厳しい合せ技にみな元気なし。身のおきどころがない。しかし観光に来た訳ではないから、ここは我慢のしどころと觀念する。まして警察官の身分であれば……。

とはいながら、最終日に外交官特權という秘密技術がとびだし公館でビール、日本酒にありつくことが出来た。限られた量なので、まさに砂漠に水、アバ、という間に呑み干してしまふ。別にアル中でもないのに我ながらあさましいというか、いやしいというか……。

移動日の朝、大使館の参事官同行いただき、GCC（湾岸7ヵ国協力機構本部）のジナール次官を表敬訪問、二十一世紀に向け、両国青年の交流について話し合う。次官は海外交流、青少年スポーツ部門の担当官。意義ある会談の場を設定して、ただいた大使館に感謝しつつサウディアラビアを後にした。

## カタール国

カタールはペルシャ湾につき出たわが秋田県程の広さ。我々には比較的なじみの薄い国であるが、九四年十月のワールドサッカー予選での事故「ドーハーの悲劇」の際にはカタールの国名が世界中を走った。實戦わずか二日間の指導日程であったこの国では四ヶ月前に護身術協会が発足し活動を開始したばかり。したがって高校体育館でのデモストレーションが日程のすべてである。この協会の練習生はまだ五〇名ほどだそうだが、我々のデモストレーションを見学した觀衆の中から即日百名の入会申し込み者があつたとのこと、協会幹部、大使館員

共々その効果を喜こんだ次第である。

## アラブ首長国連邦（U A E）

### （一）首都アブダビ



アブダビの緑と高層ビル

い。この時の団長岩井達氏は三三年に明大をでられた空手部のOBである。

岩井氏はジャパン石油の役員で現在は東京に在住しているが、長年同社のアブダビ支店におられ、空手の指導にも情熱を持たれられた。その人柄もあって現地での信頼は絶大、我々もその流れのなかでスムーズに任務が果たせるというものである。海外での校友の活躍は心強くもありまた誇らしい。

アブダビでのメイン行事は「国立高等技術カレッジ」創立記念式典における演武であった。会場には教育大臣他多くの政府高官が臨席し、また、観覧席には日本大学校の生徒七〇名がつめかけて我々の演武に熱いまなざしを送っていた。山浦利昭校長は異郷にあって日本の文化に接し、日の丸を仰ぎ感動されたのである。涙をうかべて観覧されていたのが印象的であった。団員の意氣が一段と高揚したのはいうまでもない。

演武終了のあと、ナヒアン大統領の御子息が、小池大使を通じ、個人指導を受けたいと要請してきた。早速出向いたところ、実は彼が現在傾倒している「グレー・シーリング」。我々との技を指導した。彼は柔道の奥の深さに接し、感激し、夏には講道館で修業したいと興奮の面持ちで語っていた。いわばハブニングに属することだが、海外ではよく出くわすケースである。

## (二) ドバイ

一九七一年に独立したU A E、首都のアブダビに次ぐ第二の都市がドバイである。貿易、商業、建設、金融、サービス業など活気に満ちた商都である。

したがって多くの外企業が進出し市をなしている。日本は九一年に総領事館を設置、現総領事は日黒孝敏氏、氏が明柔三年度の小林敏邦氏の知人であることを偶然知る。

「中東の香港」といわれているドバイはペルシャ湾の玄関口ジユベル・アリ港を有し、無関税地域である。近年の急速な経済発展にともない犯罪が多発し、その対策に苦慮しているようだ。特に麻薬関係の犯罪が激増しているという。そのためか我々の到着を待ち受けるるよう、「日本警察の逮捕術指導の要請があり、小学生以下三名がドバイ警察大学に赴いた。大学では佐官クラスの上級幹部六〇名を前に、「身体検査、連行」などまさに迫真的模範演技を披露。見学者もまた、かたずをのんびり我々の演技を見守る。終了後、早速、大学校長より「指導者長期派遣」の要望が出される。

ボリスマンの武器一つを見ても日本の「けん銃」に対し、アラブ諸国の場合には「ラス〔軽機関銃〕」である。治安水準の違いを垣間見たおもいである。

## トルコ共和国

イスタンブールを経由して首都のアンカラ国際空港につく。旅程の最終地、外には小雪が舞つていて。これまで巡ってきたアラビアの国々と気候がだいぶ違うようだ。

トルコは世界史に冠たる国である。十一世紀、セルジュックトルコの興隆。アジア、ヨーロッパ、アフリカにまたがつて霸權をとなえたオスマントルコ。共和国初代大統領ケマル・アタチュルクの大改革など、中世以後の、オリエンタル史の主流にトルコがあつたといつていい。

早速、共和国建国の父と称えられているアタチュルクの廟に参拝。廟前でアタチュルクによる政治と宗教の分離、アラビア語をアルファベット文字にまで変えた教育の改革など高校時代の世界史の授業をフト思い出す。

さて、トルコが日露戦争以来、大の親日国だとはきいていたが、計らざもその事を身をもつて知るところとなつた。デモストレーション、の行われたアンカラ体育館の雰囲気からである。観客は約一五〇〇人、会場は、満員。両国国歌の演奏、日本使節団の紹介、トルコ民族舞踊、柔道モーストレーションのプログラムだったが、その度毎観客全員が起立して拍手、「ジャポン」をコールする。私にとってはじめての体験であった。また、アーリア人の國ながら、我々と同じ黄色アジア系の人々もいる。

多く、柔道チームにも舞踏団にも日本人かと思うような顔たちの人が何人もいて思わず懐かしさを感じる。

トルコ柔道会長のオステック博士（イスタンブール大学教授）は小学生にこういつてくれた。「トルコ人と日本人は同じアジア人！ 紀元前に中国大陆に居住し、日本人の祖先は東へ、トルコ人の祖先は西へ移った……」と、小学生をうなづく。

翌日、アナトリア高原の大史跡「カッパドキア」を見学、悠久の文化にふれ肅然とする。

さて、約一ヶ月の旅も無事終了しました。お世話になつた各国関係者、在外日本公館、邦人の皆様に心から御礼を申し上げます。私にどつても貴重な体験でした。巡ってきた国々の平和と繁栄を祈るばかりです。

一四日成田着、その足で関係機関に出て帰国の報告を済まして任務を終了しました。仕事を終えてタクシーを「私の柔道の原点」である駿河台の明大道場へ向わせました。部員たちに迎えられ、いつものように一汗流し道場の風呂へ身を沈めた時、あのトルコの觀衆のジャパンコール、鳥海スピリットで頑張るサウジの子等の笑顔、逮捕技を見守るU A E警察官の真剣な眼差、等々が鮮やかに蘇つてきました。湯船に手足をのばし、しばし瞑目して過ぎた一ヶ月の回想にふけりました。

経済の繁栄を支えているエネルギー、石油の八〇%を中東に依存している日本にとって、彼の國々との友好親善を保持、推

## おわりに



ドバイ警察大学

進することがいかに重要であるかは言をまたない。

その意味からこのたび柔道を通じて一連の仕事を参考でできたことは大きな喜びであり、また誇りでもある。1ヶ月、五ヵ国

というかけ足の巡回指導であったが団員の团结で所期の目的を一応果たせたものと自負している。国際親善使節としての責任を無事果たした団員各位の気力と体力に心から敬意を表し、この稿を終る。(元)

## 今春の慶祝



孝富士 徳幸 由美子さん  
福岡県警 平成元年度



関口 敦司 純子さん  
NTT(株) 平成3年度

## 広告 元気でやってます 広告



お孫さん 麻裕子ちゃん(3歳) 真理江ちゃん(5歳)  
丸山彰治氏(S.31年度)

## 台東区柔道会

(31年度卒)  
理事長 丸山 彰治

## 飯塚接骨院

院長 飯塚 明 (S50年度卒)

東京都品川区大井4丁目4番2号  
電話 03(3763)3270番

## 武里柔道クラブ

会長 小川 登志雄 (S33年度卒)  
埼玉県春日部市大枝904-4  
電話 048-736-6059

四〇年度 熊本県警

(元)

## 大会日程 (九月以降)

9月	7日 東京学生柔道優勝大会、東京学生女子柔道大会	9月	7日 東京学生柔道優勝大会、東京学生女子柔道大会
10月	4~5日 全日本学生柔道体重別選手権大会 (日本武道館)	10月	23日 東京都ジュニア柔道体重別選手権大会 (日本武道館)
9~12月	11日 東京都女子柔道体重別選手権大会 (兼 H9全 国女子柔道体重別選手権大会) (講道館)	9~12月	21日 東京都女子柔道体重別選手権大会 (日本武道館)
1月	2~3日 全日本学生選手権・女子選手権 (大阪体育館)	1月	21日 東京都女子柔道体重別選手権大会 (日本武道館)
1月	15日 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 (秋田体育館)	1月	23日 東京都女子柔道体重別選手権大会 (日本武道館)
1月	16日 全国女子柔道体重別選手権大会 (秋田体育館)	1月	23日 全国女子柔道体重別選手権大会 (日本武道館)
1月	22~23日 アジア柔道選手権大会 (フィリピン・マニラ)	1月	23日 全国女子柔道体重別選手権大会 (日本武道館)
1月	6~7日 講道館杯日本柔道体重別選手権大会 (未定)	1月	23日 全国女子柔道体重別選手権大会 (日本武道館)
1月	13~14日 福岡国際女子柔道選手権大会 (福岡国際セ ンターハーツ)	1月	23日 全国女子柔道体重別選手権大会 (日本武道館)
21日	全日本柔道団体選手権大会 (未定)	21日	全日本柔道団体選手権大会 (未定)
夏期合宿延岡旭化成道場 8/11~17			
正力松太郎杯国際学生柔道大会 (日本武道館)			

# 隨筆

## 近況と況

(原稿到着順)



二十数年余のメキシコでの柔道指導生活に終止符を打つて帰国、メキシコから引揚者の私を心暖かく受け入れ、協力して下さった親戚の人々に感謝しつつ、この十年間独立の生活基盤を作りたく暗中模索、やっと昨年の一月故郷西伊豆上肥温泉に、温泉ベンション・メキシコ料理レストラン「ラ・ボサード」をオープン致しました。そして一年、ご承知の通りの不況、借金返済のための集客に四苦八苦しているのが隠ぬ近況です。

私に数多くの素晴らしい思い出作りを演出して下さった、姿先生はじめ、個性の強かった当時の明大柔道部の皆様のことは、今でも鮮明に思い出すことが出来ます。

一年生のとき事実上の決勝戦と言われた回戦の天理大戦に、突然次峰の大役で起用して頂き、今村四段に勝利して明大の全日本学生優勝大会優勝に貢献出来



ベンション客室

た事が、まず思い出されます。

また、全盛時はベンチプレス一九五キロを挙げる、力自慢の私でしたが、故神父先輩に「黄金の腕」と言われたのが非常に嬉しかった事も覚えています。

私はメキシコでナショナルコートを長く勤めて居りましたので、オリエンピック(ミュンヘン、モントリオール)世界選手権大会、パンアメリカ大会、セントロアメリカ・カリブ海大会等々、色々の国際柔道大会に参加して来ました。なかで、一番印象に残っているのは、メキシコで

開催された世界選手権大会で、後輩の篠

巻・須磨両選手の優勝で日本選手団が初めて全階級制覇したことです。明大の技、篠巻の大外刈、須磨の背負投が今でも目の前に浮んで来ます。また、カナダのモントリオール・オリエンピックでは、無差別級に出場する後輩の上村選手の練習の受けを、関監督(当時)から依頼され、そして上村選手が見事メダルを獲得、その優勝した柔道着を「先輩ありがとう」とございました」と渡された時は本当に嬉しく、日の丸の付いた柔道着をメキシコに持ち帰つて自慢し、大切に長く愛用させて頂いたことも、記憶に新しい事です。私は明大柔道部で鍛えて頂いたお陰で、二十三年のメキシコでの柔道指導生活で、数え切れないほどの掛勝負も、一度の失敗もなく、帰国するまで、メキシコ最強の柔道家であったことも昔の自慢話として報告して置きます。

ベンション経営を早く軌道にのせ明柔会の会合に参加できるよう頑張りたいと思っています。西伊豆方面のご旅行には是非当ベンションをご利用して頂きたく、

ここにお願い申し上げて置きます。

S三五年度卒

レストラン経営

## 大阪における全日本学生優勝大会を振り返って

川村侃

平成四年から平成八年の五年間、それまで東京で行われていた全日本学生優勝大会が、大阪難波府立体育館に移つて開催されました。この期間中、明治大学柔道部には、神田先生の逝去、念願の合宿所の開設等、大きな哀しみと喜びが行き交いました。又、阪神間で在住の人々は忘れる事の出来ない平成七年一月の阪神淡路大震災が起り、大阪明柔会甲斐福男会長を始め、会員多数が、家屋損壊に遭い、身体・精神・金銭的な被害を被った事でした。にも関わらず、学生達に変わらぬ支援を頂きました事を、この誌面を借り、改めて御礼申し上げます。

さて、毎年、学生来阪前には、「今年は是非当ベンションをご利用して頂きたく、

## 勝つてこそ光る事

森幸夫

今年(平成八年四月二十九日)は久し

戰力が良いから優勝を狙つているそうですが……」とか、「今年は少し戦力不足やからしないぞうやで……」とか、色々な噂が聞えてまいり、心配と期待を胸に応援にかけますが、いざ、試合が始まりますと、日々声援に声を枯らすのみでした。

後輩達がどの対戦校にも、堂々と力一杯戦う様子に、大阪人の観衆の中から「明治ええぞ! もつと、いったれ!」等と、大阪弁の声援が飛んだりしてこれもまた、うれしいものでした。

優勝一回を含む好成績に、大阪明柔会員は、楽しませてもらいました。諸先生並びに学生諸君、御苦労様でした。

十分なる支援は出来ませんでしたが、御容赦を……。今後、ますますの明治大学柔道部の発展を祈念いたします。

(大阪明柔会事務局四四年度卒)



振りに、東京九

段の日本武道館に足を運んだ。

この大会は、ア

トランタ五輪95

キログラム級代

表最終選考を兼ねた全日本柔道選手権大

会が全国より勝ち上つて来た三十六選手

が出席して行われ、小川直也五段が決勝

で三谷浩一郎四段に掬い投げで一本勝ち

して二年連続七回目の優勝を果たし

優勝七回は天下泰裕現日本男子ヘッド

コーチの九回に次ぐ記録。この日の小川

選手は初戦からボーポイントを奪はず判定勝

のスタートで準々決勝では一昨年の覇者

金野潤四段に二対一の旗判定で辛勝での

など苦しい試合が続いたが決勝は三谷を

豪快に投げて重量級第一人者の意地と執

念をみせた。最近はもう限度が来て弱つ

てきたかと思われた。年に勝てないのか

などと思われたこともあった。この不安

をふき飛ばしたように堂々たる勝利。

この勝利は自分自身の悪条件と闘って

鍛えた勝利の栄冠です。頭の下がる思い

## 同期会

### 三、三会を九州に迎えて

三、三会(一)に一度は森田次男君の世話を(十一月二十二、二十三、二十四日の二泊三日)佐賀県の古湯温泉に集合しました。

先ずは出席者を紹介します。

甲斐福男君御夫婦(三、三会会長)小川登志雄君ご夫妻(同幹事長)福田一朗君、宮下潔君、小林敏邦君、伊藤彰朗君御夫婦、勝峰孝文君、今回の世話をしてくれた森田次男君御夫婦、小生三苦隆憲と妻、そして何よりの参加者が田暢君、十月二十一日に御母堂様が他界され御不幸中にもかかわらずお坊さんのお経を十五分に短縮して一日遅れの羽田発最終で現地に午前0時頃到着し合流してくれた、なんと義理堅い人だろうと皆素晴らしい友人を持ったことに感動する。男女十名、奥様方五名、特別に参加してくれた、三十七年度卒佐賀県出身の杉原構君と五十九年度卒佐賀県警警察部補古賀智君、計十七名

をした。すべての勝利は人の心に感動を呼び起す。高校野球でも、他のスポーツでも最後の決勝戦に勝った時、選手たちは躍り上つて集つてくる。テレビを見ていると、明るい涙が湧くことさえある。野球、相撲、剣道、柔道、水泳、ラグビー、陸上、サッカーなどの場合優勝のかけに涙が光る。躍り立つ歡喜の涙である。心の感動をつける一番の近道は勝つことである。勝利の栄冠は生ず、己に克服したことから始まる。懸け心を打ちください。



佐賀路に集合した三三会

佐賀県佐賀郡古湯温泉での宴会がにぎやかに始まつた毎度の事乍ら学生時代の楽しかったことと苦しかった柔道の技のことなどを話題にムードはいやが上にも盛り上がる。

森田夫人の歓迎のおどり、皆の唄、一年分の笑いをこの三日間で出し切った様な気持ち。

二日目は早朝からハルーン(熱気球)を見物好天気に恵まれ青空に何百個と言づルソが色鮮やかに上がっている姿は何とも勇壮で見事なものでした。

次いで吉野ヶ里遺跡を見学し増田会館で昼食、ここは館長が明大のOBの方でこれまた森田君の手配よろしく見て色々とサービスをしてくれた。

午後からは有田焼の有田へ。陶芸市こそなかつたが沿道には陶器の問屋と小売店が軒並み出でいる。

全国的にも有名な深川磁器本

私は常に思つて来た。集めようとすれば組織が要る。人手も要る。自分独りの全身全力を絞つて己を空にする。そして、道を学び、我が道を進む。そこに必死の縁がつながる。

私は常に思つて来た。集めようとすれば組織が要る。人手も要る。自分独りの全身全力を絞つて己を空にする。そして、道を学び、我が道を進む。そこに必死の道はやらされているようではだめ。自分道はやらされているようではだめ。自分に努力が生まれる。劣等感をもたない人間なんてありえない。

劣等感は人間の生きて行くための条件の一つである。人間は自分が持つていて何らかの劣等感を克服せんとする。そこには努力が生まれる。劣等感をもたない人は己に克つて成り、自ら愛するを以て敗る。

学びはあるけれども、他人に頼つたり物に頼る必要はなくなる。勝利の道は己を相手に絞り切る訓練から生まれる。

社、工場を見学。高級な壺は家一軒建つ

くらいの価格だという事に驚く。

有田の町に東京の小川君が知つていて佐賀の森田君が知らないという豆腐屋があ

りその店を訪ねて『どうぶつ』なるもの

を食しました。豆腐とモチを合わせた様

なもので味も非常に良く誰もが初めて食

べたとのこと、小川君はN.H.K.の、T.V.で知つていたそ

うです。その後は、嬉野の肥前夢街道に廻る、こ

こは京都の映画村みたいなものでした。と言つところで二日目の夜は嬉野温泉、

マア明大柔道部は酒豪揃いですがその中

でも三、三会はA級で故神永君始め全員

酒の嫌いな者は居ない。

日頃は小学生、糖果屋の氣が有るので控えめ

にしているのだが此の日ばかりは周囲に影キョウされて底無しのようしに胃袋に入れる、この二日三日は朝晩とアルコールの切れ目がない、傍に妻がいるので、出来る丈離れているが時々睨みを効かされている。

三日目は伊万里焼き窯元の小売店を見て

鏡山へと登り唐津湾と虹の松原を眺むる。最後の昼食会で一年後また元気で逢

える日を誓つて解散。次回は秋田県の予定

東唐津で森田夫妻と杉原君に別れを告げJ.R.で博多駅と福岡空港へと向かつた。

恩師久米勝先生の出身地で三、三会を開いた事、今回の山の中の温泉は格別の雰囲気だったことなど、きっと忘れ得ぬ集まりとなることだらう。

最後に先立つて逝つた盟友神永君、高島君、児玉君、坂本君、新橋君、そして恩師久米先生の冥福をお祈りし、樂しかつた佐賀路の旅の報告と致します。

三苦隆憲(博多在住)

主の呑みすぎを心配しておられた三苦夫人が七月二日に亡くなられた。

人無情という他に言葉がない。

在りし日の顔色を偲び会を代表してご冥福をお祈りいたします。

三、三会幹事長 小川登志雄

会長 吉田秀彦、幹事長代行 佐々木伸也。年には何回か親睦会を行つ。

サンピング会新入歓迎会

三一年卒の同期会、サンピング会(丸山章治会長)の好意で、すでに恒例となつ

ている春の新人歓迎会が今年も六月七日、下谷のしゃぶしゃぶ割烹「四候」で行われ、九名の新入生と主将、マネ

ジャーが腹一ぱい、力一ぱいご馳走になつた。

なつた。

会長 吉田秀彦、幹事長代行 佐々木伸也。年には何回か親睦会を行つ。

サンピング会新入歓迎会

三一年卒の同期会、サンピング会(丸山

章治会長)の好意で、すでに恒例となつ

ている春の新人歓迎会が今年も六月七

日、下谷のしゃぶしゃぶ割烹「四候」で行われ、九名の新入生と主将、マネ

ジャーが腹一ぱい、力一ぱいご馳走になつた。

なつた。

なつた。

なつた。

なつた。

なつた。

## 明柔 コラム

# 道場往来



合宿所が建つて一年になる。いま、この春入部予定の高校生たちが泊まりこん

で、受験勉強に大忙し、勉強部屋は暖かく清閑としている。去年のいまごろは、み

な、まだ八幡山だった。

そこには、同じように受験生たちがい

たが、彼らはダウンジャケットやマフラーで身を固め、居間のコタツテーブル

にひいきを寄せあつていたものだった。

合宿所建設の経緯についてはこれまで述べてきたが、我々にとってはこれまで大事業であった。

今回は一年がたつたということで事務局の裏話というか、苦労話を書いてみたい。苦労話とは建築現場につきもの地元住民とのやりとりの事である。

大学施設課の職員と私が当初から折衝にあつたていたのだが、私にして見れば、自分たちの家の古くなつたので定められ

た建築基準のなかで新しく建てかえる、ということだから基本的に反対されるはずがないと思つた。

佐賀路の楽しい集いに参加され、ご亭主の呑みすぎを心配しておられた三苦夫人が七月二日に亡くなられた。

人無情という他に言葉がない。

在りし日の顔色を偲び会を代表してご冥福をお祈りいたします。

三、三会幹事長 小川登志雄

い。朝のトレーニングがうるさい(ト

レーニングは公園でやつてある)あげくの果てには二十余人分もの炊事の煙はどうなる(もし仮に出来ても二階の南側には窓をつけない事、南隣の私の家には娘が二人いる)つまり隣家に住む彼自身の懸念とエゴが周辺住民の意見となつてしまつたのだからやがこしなくなった。目黒区が周辺住民の了解を得てから工事に入ること、といつてることをタテにとつていてるからたまらない。彼はこうもほざいた「いま時建物を建てるのに三・四年かかるのは常識だ」と。税金の見通しもたち大学の援助が決まつた時であつたからアセッタ、工事の大幅延期や事業の縮小でもなつたら全国の諸兄に顔向けが出来ない、切腹ものである。大学側はこの際延期はやむを得ないと思つてゐるらしい。

しかし我々にとってはそうはいかない。

その後反対でない人々もいる(むしろ多數派)ため少し進展する。

「ならば計画の半分の大きさにしなさい」「学生だからゴミの処理が心配だ」「友人

がバイクで遊びに来るだろうからうるさ

## 二ユー・ヤング明柔会

十年ほど前に発足した親睦会ヤング明柔会(小野瀬雅幸会長)はメンバーがそろそろヤングといえない。そこでこれを

カバーしようとして、ニユーヤング明柔会がこの度発足し新橋方面で

華々しく発会パーティを行つた。(二十名集まつたというから在京近県のニューヤングのほとんどが参集したことになる。

会員の資格年齢は平成三年卒以若。それ以後は従来通りヤングの方へのこと。パーティは盛り上がり、五〇〇〇円の会費が途中から一〇〇〇〇円にはね上がつたそうだ。

会長 吉田秀彦、幹事長代行 佐々木伸也。年には何回か親睦会を行つ。

サンピング会新入歓迎会

三一年卒の同期会、サンピング会(丸山

章治会長)の好意で、すでに恒例となつ

ている春の新人歓迎会が今年も六月七

日、下谷のしゃぶしゃぶ割烹「四候」で行われ、九名の新入生と主将、マネ

ジャーが腹一ぱい、力一ぱいご馳走になつた。

なつた。

会長 吉田秀彦、幹事長代行 佐々木伸也。年には何回か親睦会を行つ。

サンピング会新入歓迎会

三一年卒の同期会、サンピング会(丸山

章治会長)の好意で、すでに恒例となつ

ている春の新人歓迎会が今年も六月七

日、下谷のしゃぶしゃぶ割烹「四候」で行われ、九名の新入生と主将、マネ

ジャーが腹一ぱい、力一ぱいご馳走になつた。

なつた。

なつた。

なつた。

なつた。

さて、このトラブルはある高等戦術で一きょに解決したのだがそれについては終わりに書く。

日本は近代的な法治国家で民主主義社会だということになっているが、私は時々それを疑う時がある。

ある土地にどのような種類のどのような目的のどのような構造のものなら建てていいか、ということは、法律で「明確」に決められているにもかかわらず、日本の現状では、そのルールに従うだけではだめで周囲の同意をとりつけなければならぬという風潮がある。その建物が、その地区的設計基準に反したところが無ければ、そのため私の家の庭の一隅が日陰になることがあってもそれは致し方ないのではないか。

他人に完全に迷惑をかけず受けずの関係で暮らそうとしても、それは現実問題として不可能だから、その迷惑の度合いがせめて一定の範囲内で済むようにしようとというのが、法律である。もちろん建築基準そのものに不備がある時は、それ

を改変するようにならなければならない、市民の間にその手の不満が高まれば、与党は議席を失ってしまう。  
役所の仕事は勇気を持つ、その法律を実施する、それが民主主義と国民への忠誠であり、義務なのだということである。

つまり、完全に「泣きを見る人がないような政治」という発想こそ、幼児性をあらわすものである。そのような政治は地球上のどこにもない。社会主義なら共産主義なら、という夢にとりつかれた先生方もいたが、その辺りもすでにかたずいた。

日本人は優秀な民族であるということは私のは誇りの一つだが、同時に、日本人が他国と比べて、人間として幼いといふ感じも拭いきれない。

さて、例のトラブルの解決だが、ある友人にボヤキを入れたところから始まった。友人は著名社のジャーナリストだった。奥村は著名社のジャーナリストだったのである。「明治大学柔道部」という日本の柔道界に大きく関わっている大学柔道部のOBたちが血のなる思いをして金を

出し相い、後輩のため、柔道発展のため頑張っている。この立派な文化事業を阻止しようとする理由はなにか」と彼の折衝人の職場にインタビューの申し込みをした。この瞬間にトラブルは終わつた。彼の職場についての詳細はいわないのでおく。(この頃には住民の大半が我々の側にあった)

最初の大学との折衝から竣工まで丸々七年はかかったであろう。大学とのやりとりは、一昨年、理事会の体制が新しくなるまでまさにノレンに腕押しの状態だった。  
新体制になつていい動きになつたところで、住民の反対である。理事会は我々の活動を積極的に支持してくれ、アーティストにいなかつたといえばウソになるが、建設資金の三分の一を出してくれることになつた。もしも旧体制のままだったらどうだつたろうか、そして反対運動が続いていたらどうなつっていたか、考えても冷や汗ものである。すでに全国の会員に「激」をとばしていただけにである。しかし、悪いことばかりではなかつた、

## 練習試合

4/26於

明大道場

明治2—2 新日鉄 (内容勝)

明治9—3 新日鉄NTT連合

4/30於 日体大

明治6—6 日体大 (内容勝)  
明治7—2 筑波大  
明治5—4 近大

## 計 報

平成8年8月25日

昭和43年度卒

安斎義人氏 ご母堂様

平成8年10月29日

昭和46年度卒

馬庭光伸氏 ご本人

平成8年11月25日

昭和51年度卒

江川真司氏 ご母堂様

平成8年12月26日

平成5年度卒

中嶋一也氏 ご母堂様

平成9年5月30日

昭和18年度卒

山口吉暉氏 ご夫人様

平成9年5月19日

昭和29年度卒

渡辺欣嗣氏 ご母堂様

平成9年7月2日

昭和33年度卒

三苦隆憲氏 ご夫人様

平成9年7月2日

昭和33年度卒

三苦隆憲氏 ご夫人様

## 奥村チエコ国際で優勝

四月十日、チエコ、プラハで開催された、国際大会七八“級”で奥村が優勝した、決勝、奥村(日)、(すくい投げ、一本勝)ブーラー(仏)  
ブーラー選手はアトランタ五輪の金メダリスト、五輪では古賀選手が準決勝で敗れている。

奥村俊樹、政経三年、秋田校出

# 名譽博士になつた

## 元部員



ベン・キャンベル  
上院議員



長、師範の  
参考も得  
て、懇談の  
場を後楽園  
飯店に移し  
た。この飯  
店を管理す  
る東京ドー  
ム食堂部の  
部長、菅谷  
邦正も三八

ドヴィン・ライシャワー博士以来のこと。  
十月十四日午後、授与式と記念講演を  
終えたキャベル氏は、部員、O.B.が待ち  
受ける道場へ御子息と秘書をつれてやつ  
てきた。

実は前日、成田から山ノ上ホテル（大  
学隣り）に着いた彼は、その足で誰もい  
ない道場をのぞきにいったということだ。  
(秘書の話)

三二年がたつとはいえ道場は当時そ  
のまま、一緒に汗を流した旧友の閑勝治、  
島海又五郎らと肩を抱き相い再会を喜ぶ  
彼の目はうるんでいた。

三三年ぶりのことである。  
キャベル氏のこのたびの来日は明治  
大学がその政治家としての業績を称え、  
名譽博士号を授与したことを受けたもの  
である。

因みに明治大学がアメリカ人へ名譽博  
士号を贈ったのは元駐日アメリカ大使工  
士号を贈ったのは元駐日アメリカ大使工

ス・キャンベル氏が米国上院議員（共和  
党）に身を以て、明大道場に里帰りした。  
三年ぶりのことである。

キャベル氏のこのたびの来日は明治

大学の柔道部として東京オリンピックに登場した。依然として人種差別の壁の厚かったアメリカで柔道という特殊なスポーツであるとはい、そのチームを率いる主将に、ネイティプ・アメリカンが選ばれたことは、優れたリーダーとしての資質を示すものとして特筆すべきものである。

キャンベル氏は、本学で柔道を修得し、帰米後も柔道を通して日本文化の普及に貢献する傍ら、自らの誇りとするインディアン・ジュエリーを事業化し、大きな成功を収めた。1987年には、観覧であり、しかもネイティプ・アメリカンであるというハンディをものともせず、下院議員に挑戦し、これを射止めた。下院議員2期を経て、さらに92年には上院議員に当選した。

周知のことではあるが、アメリカ政治における上院の地位は高く、上院議員は国民の大なる尊敬を得ている。下院議員の任期は2年で485名もいるのに対し、上院議員の任期は8年で、その数も100名に限定されている。また、上院には下院に優越する権限がいくつか与えられている。上院議員経験者は、その職を退いた後も、セナターの呼称を冠されるのが慣例となっているほどである。

キャンベル氏は、唯一のネイティプ・アメリカン（シャイアン族）出身の議員として、ネイティプ・アメリカンの地位及び生活向上に尽力し、その功績はアメリカ国民に高く評価されている。特に、公有地と自然资源に関する政策において指導的な役割を果たし、ウート族の水利権に関する法律などの歴史的な法案を可決させたことで広く知られている。

さらに、キャンベル氏は、財政予算削減を進めているクリントン政権に対し、フードスタンプ（困窮家庭に給付される食券）制の残存と、その予算の据え置きを強く要求している。また、ネイティプ・アメリカンに対する差別と偏見をなくすため、議会におけるスピーチやメディアを通じ、アメリカ国民に理解を求めており、そのスピーチは国民の間に深い感動と共感を呼んでいる。キャンベル氏のその努力と熱意はネイティプ・アメリカンに関する博物館をワシントンに誕生させることに結実したといえよう。

キャンベル氏は、モンタナ州レー・ディーヤ北シャイアン族の44酋長会議の議長に就任したこともあり、「ニュースウイーク誌」上では、アメリカ西部における最も注目すべき人物として、尊敬を一身に受けている。

現在は、コロラドの大自然と居住民族の水利権を保護する法案を作成中である。尚、キャンベル氏は、明治大学で4年間、体育会柔道部で柔道を学んだことに深い喜びと誂りを持たれているとともに、明治大学をこよなく愛し、アメリカにおいても明大スピリットを常に持ち続けている偉大な人物である。

よって、ここにキャンベル氏を明治大学名譽博士としてご推薦申し上げる次第である。

以上

1995年10月12日

推薦者

百瀬 恵夫  
金子 光男  
木谷 光宏

年度、たまたま出張中で旧友に会うこと  
が出来なかつたが手配十分、まことに行  
き届いたものなしであつた。

また、このたびの行事にあたつて、大  
道場、歓迎会と滞同して通訳の労を  
とつてくれた(株)アイ・ピー・ムの浅見  
ベートベン氏にも御礼を申し上げたい。  
浅見氏には、会報に「柔道の英語」をた  
びたび書いてもらつていて。試合場や道  
場にいつも顔を見てくれる明柔会の会  
友である。

有明自遠方來不亦樂乎。

歓談は予定の時間と延長して続いた。



89年 欧州連盟がIJF総会で導入を提案したが、否決された

93年 再び欧州連盟がIJF総会で導入を提案するも否決

95年 IJF理事会で各大陸別の大會でカラー柔道着の実験を許可する内容の決議案を採択

96年 欧州連盟総会で同年12月スイス・バーゼルでのAトーナメントから公式使用を決定。日本はAトーナメントは欧洲以外の諸国も参加するIJFの公式行事と見なし規定違反と反論

97年 アフリカ連盟が7月のアフリカ選手権での実験使用を決定。10月のIJF総会で導入問題を検討する

(注) IJF大会ルール規約第3条に、柔道着は「white or off white in colour (白もしくは準じた色)」と規定されている。

### 【日本が参加している欧州の主要国際大会】

ロシア国際(モスクワ)

1月25—26日

フランス国際(パリ)

2月7—9日

オーストリア国際(レオンディング)

2月15—16日

ドイツ国際(ミュンヘン)

2月22—23日

ハンガリー国際(デタベスト)

3月1—2日

チエコ国際(プラハ)

3月8—9日

JUDOの流れに抗しきれず

ブルー柔道着用を意味する欧州国際大会への参加決定は、

柔道着を主張する予定だ。外堀を埋められた中、現実的に取り得る最善の手段ではあるが、もはや「JUDO」を「柔道」に戻すことは困難だろう。

## 武道のカラー化はまだ少数派

### 〈大相撲〉

まわしの色は、「関取資格者は、紺・紫色系統のしめこみを使い、同色のさがりを使用すること」と相撲規則で規定しているが、実際は輪島の黄金色のほか、高見山(現東関親方)、曙がオレンジ、朝乃若にいたては、寅光レモンイエロー…。境川理事長(元佐田の山)は「これ以上、ひどくなつたら、注意するつもり」。また、昨年から、外国人の入門を事実上禁止するなど、国際化よりも、鎖国状態だ。

### 〈アマ相撲〉

大相撲と対照的に、2008年の五輪での正式競技入りを目指し、国際化に積極的だ。外国人の抵抗感を和らげるため、まわしの下にサボーターの着用を認めている。

また、今年1月発足した女子の新相撲も、獲得のためさまざまな工夫を凝らした。レオタードを改良してまわしを受けたウエアを着用。色に制限はなく、土俵も青、赤色などのマットを採用するなどカラフルだ。

### 〈剣道〉

国際連盟には、36カ国以上が加盟しているが、五輪入りなどのはない。「防具などのカラー化は考えていない。外国では道の話はない」。

ここ数年、徐々に外堀を埋めてきた結果といえる。

欧州の大会は強化の上で欠かせない。しかし2年前に欧州柔道連盟(EJU)が、欧州国際大会でのブルー柔道着の使用を打ち出したとき、日本は反発、不参加を表明している。結局はEJUが折れたが、このときは、前年の国際連盟(IJF)総会でブルー柔道着導入案が否決されたばかりで、EJU側の規約違反という大義名分があった。

だがIJF理事会は昨年、各大陸連盟でのブルー柔道着の試験的導入を認めた。今回、EJUが再度打ちだした試験的導入は規約にのつとっているわけで、反発はIJFの取り決めへの反旗を意味する。そうなれば「日本の立場が苦しくなる」(全柔連・小粥義朗専務理事)。孤立化の道は選べない。

国際オリンピック委員会(IOC)では競技が五輪で生き残るための重要な事項として、テレビ視聴率を挙げている。柔道に対する評価は最低ランクであり、何らかの改革が必要とされてきた。欧州のブルー柔道着はその対策として、10年前から主張されている。

しかし日本は反対するばかりで、対案の提示が遅すぎた。ストライプ入り柔道着の対案が発表されたのは先月のこと。対応が遅れる間に、状況に流されてしまった。

「(反対のために)、ブルー柔道着の問題点を実地に体験するのも必要」と小粥専務理事。今回の決定があくまで試験的なものであることを訴えるため、参加する大会数を絞る。そして来年10月のIJF総会(パリ)では、貫して白を基調とした開きがあり、三年に一度の世界選手権でも日本が上位を独占している。

### 〈空手〉

2004年の五輪での公式競技入りを念頭に、活動を進めているが、「空手着のカラー化といった問題はない」と、全日本空手道の荒川通事務局長。二つの国際団体が存在し、3本勝負か1本勝負か、試合の判定方法が違うという問題を抱えており、「これをどうにかしないと、オリエンピックどころじゃない」と荒川事務局長。

5年前に国際連盟が発足し、昨年、8カ国が参加して第1回の世界選手権を実施。「オリンピックは夢ですが、それぐらいまで広がるには、相当な時間が必要です」と、全日本なぎなた連盟の河盛敬子理事長。

国際化には積極的大だが、「競技は普及すると、どうしても勝負を重視する傾向になる。それで、武道の伝統的な部分が損なわれることもある」(河盛理事長)と、国際化と伝統の間での悩みがある。

(サンケイ新聞から)

# 果して大問題なのか

朝日新聞運動部 竹園隆浩

日本の柔道選手が、いよいよ国際部隊で青いカラーリー柔道着を身につけて試合をすることになった。日本柔道連盟は昨年十二月の理事会、評議員会で、今春欧州各国でカラーリー柔道着を使用して開催される国際大会へ、選手を派遣することを決めた。「白」にこだわり続けてきた日本の姿勢の変化は、柔道界が新しい国際化の時代を迎える確かな「兆し」でもある。

一九六四年、東京五輪無差別級金メダリストのアントン・ヘーシング・現国際オリンピック委員会委員（オランダ）が発表したカラー化問題は、二十年来、日本と欧洲柔道連盟（IJU）の対立の原点となってきた。過去二度、国際柔道連盟（IJF）総会で採用を否決しながら、EJUの提案を拒否出来なくなってきた背景には、カラーリー推進派の朴容辰（韓国）の存在が大きい。

白と青のリバーシブル柔道着を、無料で发展途上国などに配布する朴会長の作戦が、「カラーリー化は経済的な負担」と受け止められてきた国々を説得、欧洲以外にも支持



（JF）の可能性で、採用可決の方向にIJFは動きだしている。

しかし、この問題がアトランタ五輪直後に進展し始めたことは、逆に日本柔道界にとっては好都合かも知れない。日本選手団全体が大惨敗に終わった五輪で、柔道は男子2、女子1の金メダルを得る。何とか面目だけは保つた。だが、実情を見る限り、カーラー化問題を抱えたままでは、国内での意見を統一するには難しい。加えて、IJFでの動き上がりを始める国際化の問題はカラーリー化だけではない。審判のレベルの向上をめ、日本が本気で取り組まなければならぬ課題は山積みだ。

例えば、IJF審判規定で現在「一本」の下に「技あり」「効果」と分かれている技の判定基準への指摘がある。素人の目から見ると、「技あり」が合わせて「一本」なのに、「有効」はいくつ取っても「有効」で、「効果」も同じ様に繰り上がる。このため、ヘーシング氏などは独自案で、「本」が10点、技あり7点、有効5点、効果3点とのボイント制の導入を新たに提案している。合計点が10点に届いた時点で試合が終わることの案は、過去にEJUの提案でIJFで議論された時には一喝された。しかし、カラー問題同様に、今後もそれが拒否され続ける確認はない。今のうちに具体的な対抗案、代替え案をきちんと考慮しておくことが大切なのはない。

国内を省みても、柔道界を取り巻く現状は厳しい。昨年十一月に開催された嘉納義五郎杯国際大会の会場で、ガラガラの観客席を背に外国の役員たちがため息をもらしていた。「どうして柔道の本家で行われる国際大会で、こんなに人気がないのか。日本の柔道界は、会場を満員にするための努力をしていないのか。これでは、欧洲の大会の力がもっと盛り上がって、試合の質もい」と

本家のプライドは実に大事だ。だが、今回のカラー問題は、もうその遺産だけでは柔道界は前進しないことを、日本の関係者がしつかりと認識する機会と、捕らえるべきだらう。海外からの批判もしつかり受け止めて、その声に答えていかなければ、日本はIJFの中でリーダーにもどることは出来ない。

カラー化を好意的に受け取る関係者は、まだ全国で孤立して、心中してしまうほどにこだわる問題ではない。その意味で、全柔連

を広げた。さらにEJUのカラー採用を、「IJFで採用の是非を判断するためのテスト」と位置づけたことで、日本に無視出来ない状況を作り上げた政治的な手腕もさすがだ。

五輪世界選手権を主催するIJFでのカラー採用問題の決

着は、あくまで来秋パリで開かれる総会。だが、反対派の旗頭

である日本が「テスト」といえカラーリー大会に参加すること

で、朝日新聞運動部

卒業生就職先
海外駐在
野坂良雄、岩谷産業（株）ニコン、が今春から、それぞれシンガポール、アメリカの支社に赴任している。野坂は支店長。
木村 芳徳 割烹「稚加菜」
赤井沢 一晴 京葉ガス（株）
太田 薫 中島畜産（株）
石丸純二 教職課程取得留年

昭和52年度卒 段上道夫（株）ベムス 営業部 TEL.03-3361-3481

明柔会ゴルフ愛好家の皆様、益々御健勝の事とお慶び申し上げます。さて恒例の明柔コンペ春季大会が去る4月28日姉ヶ崎サントリーゴルフ場において開催されました。

当日の天候は小雨まじりで決してゴルフ日よりとは言えませんでしたが、それでも各選手白熱したプレーを展開され、和気藹々のうちに楽しく一日を過ごしました。

当日は遠方より、甲斐先輩、佐藤先輩、飛島先輩、丸谷先輩の参加をいただき紙面を借りて御礼申し上げます。成績につきましては後記の通りです。今回の優勝者は、学苑会柔道部OBの坪先輩であります。長年明柔コンペにはメンバとして参加していただいておりますが、これが初優勝との事でした。

優勝の常連、北瀬先輩が欠席ということで内心優勝を狙っていた選手も多かつたことと思いますが、坪先輩が堅実なプレーをして参りました。

次回コンペは秋に予定しております。今回に増して盛大に行われますよう多数の皆様のご参加をお待ちしております。

## ☆ Goruf competition ☆ 明柔会第46回明柔コンペ報告

### 第46回明柔会ゴルフコンペ成績表

平成9年4月28日 姉ヶ崎C.C.

氏名		GLOSS	HDCP	NET	順位
坪 昭二	47	51	98	24	74 優秀
丸谷 武久	46	61	107	21.6	85.4 B B
濱本 義典	54	51	105	22.8	82.4
神田 和夫	48	49	97	13.2	83.8
甲斐 福男	47	49	96	15.6	80.4
佐藤 幸二	43	43	86	10.8	75.2 3位
栗原三千男	41	47	88	8.4	79.6
伊藤 義一	54	58	112	27.6	84.4
閔 勝治	43	47	90	15.6	74.4 2位
山田 朝彦	45	53	98	16.8	81.2
渡辺 昌照	49	44	93	12	81
高田誠之助	46	47	93	14.4	78.6 4位
飛島 義祐	52	55	107	27.6	79.4
岩田 久和	55	59	14	27.6	86.4 B M

ペスグロ 佐藤 幸二 ニアピン 高田誠之助 濱本 義典  
ドラコン 坪 昭二 栗原三千男

### 明柔会コンペ成績表

平成8年11月15日 姉ヶ崎カントリー倶楽部

氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	RANK
北瀬 晓一	39	40	79	6	73 優勝	
渡辺 昌照	47	44	91	12	79	4位
浜本 義典	52	52	104	24	80	5位
佐藤 幸二	47	41	88	7.2	80.8 B B	
閔 勝治	41	49	90	13.2	76.8 2位	
植田 茂	45	45	90	9.6	80.4	6位
小野瀬雅幸	63	69	132	36	96	B M
長谷川幸夫	57	47	104	25.2	78.8	3位
伊藤 義一	51	56	107	26.4	80.6	7位
神田 和夫						
栗原三千男	48	59	107	26.4	80.6	8位

\*神田先生は、交通渋滞の為参戻され、ハーフだけのプレーでしたので成績表には記載されませんでした。

今回も神永先輩、閔先輩、山田先輩(二部柔道部OB)より商品のご寄付を頂きました。  
厚く御礼申し上げます。

-明柔会ゴルフ会幹事 浜本義典-



優勝の挨拶 坪 昭二氏

浜本義典 (51年度)



明柔ゴルフ連勢ぞろい

## ゴルフコンペ二題

前日の雨が嘘のよう晴れ上がった平成8年10月4日 第一回東京六大学柔道部OB会東西対抗ゴルフコンペが開催されました。

大阪名柔会の大橋先輩よりお誘いを受け参加させて頂きました。

このコンペは、昭和61年に東京六大学柔道部OB会の親睦コンペとして始まつたのが前身で20回を超えた今回東西

対抗と銘打って一層盛大に開催されたとの事であります。

会場は、愛知県屈指の名門コース、藤岡カントリー倶楽部で、メンバーの伊藤

彰朗先輩には大変お世話になりました。さて 参加した各大学のOBは別表の通りですが、我明柔は13名が参加し、皆さん遺憾なく実力を發揮され、栄えある団体優勝を飾りました。

又 個人の部でも北瀬先輩が優勝し正に明柔の面目躍如たるものがありました。各自の成績は別表の通りです。北瀬先輩は11月15日に千葉県の姉ヶ崎カントリー倶楽部において開かれた明柔会コンペでも優勝されました。

その明柔コンペにおいて今回特筆すべきことは、関先輩がホールインワンを記録した事でしょう。姉ヶ崎カントリー俱

楽部西コース7番ホール(157ヤード)において見事達成されました。ゴルフ会々長の神田先生にお伺いしたところ歴史ありました。

リーグ倶楽部において開かれた明柔会コンペでも優勝されました。

その明柔コンペにおいて今回特筆すべきことは、関先輩がホールインワンを記録した事でしょう。姉ヶ崎カントリー俱

楽部西コース7番ホール(157ヤード)に

おいて見事達成されました。ゴルフ会々長の神田先生にお伺いしたところ歴史ありました。

明柔コンペでも初めて快挙ということ

がありました。

終わりになりましたが、名古屋のコンペで幹事役でありました大橋先輩をはじめ伊藤先輩、河原先輩には大変お世話になりました。紙面を借りまして御礼申し上げます。

28日(月)に予定しております。改めて御案内致しますが皆様奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

濱本義典(51年度)



明柔ゴルフコンペ開始以降初ホールインワンおめでとう  
関 勝治さん

## 第1回東京六大学柔道部OB会 東西対抗ゴルフコンペ組み合わせ表

O U T					
		清水安一 W 27年	天津 裕 T 36年	水谷澄雄 N 33年	伊藤彰朗 M 34年
1	9:18	大橋武彦 M 35年	福田誠志 H 35年	松本修三 W 53年	
2	9:26	春木健一郎 T 34年	青井 肇 H 41年	北瀬暁一 M 43年	古長公良 M 50年
3	9:32	岩本 猛 R 33年	萩巣賛二 K 41年	福田二朗 M 34年	瀬戸口正征 T 44年
4	9:38	葛島正作 H 36年	三田隼輔 W 41年	岡田 K 45年	鈴尾弘幸 M 52年
5	9:30	酒井正雄 M 33年	萩原 茂 R 45年	柳田哲也 W 62年	谷岡龍雄 K H1年
6	9:36	坪 昭二 M 36年	浦地哲夫 R 45年	有地英晴 H 57年	
7	9:42				
I N					
8	9:18	野田友清 W 31年	甲斐福男 M 34年	辻岡 隆 K 45年	浜本義典 M 52年
9	9:26	浜田正次 T 35年	林 肇 H 38年	辰野幸正 K 40年	山田朝彦 M 42年
10	9:32	竹内寿一 H 36年	岡端 武 W 37年	高田誠之助 M 37年	森本 薫 T 50年
11	9:38	小島庸三 K 40年	河原月夫 M 47年	角屋光宏 H 38年	

## 【コンペ順位表】

開催日：96年10月4日

グループ名：東京六大学柔道部OB

コース：OUT IN

方 式：ダブルベリア

グリーン：コーライ ティ：レギュラー

隠しホール：OUT—134679 IN—134569

ネット 順位	受付No.	氏 名	OUT	IN		クロス	HDCP	ネット	摘要
1	0047	北瀬 晓一	41	44		85	14.4	70.6	
2	0117	浜田 正次	42	41		83	12.0	71.0	
3	0067	有地 英晴	37	37		74	2.4	71.6	
4	0115	辻岡 二郎	48	45		93	20.4	72.6	
5	0051	福田 誠志	43	43		86	13.2	72.8	
6	0053	葛島 福田 健	43	47		90	16.8	73.2	
7	0042	春木本 駿雄	46	46		92	18.0	74.0	
8	0045	山田 大輔	47	48		95	20.4	74.6	
9	0120	谷崎 岡端	43	44		87	12.0	75.0	
10	0041	大谷 坎	48	50		98	22.8	75.2	
11	0059	岡端 昭二	54	56		110	34.8	75.2	
12	0122	坪 嘉之	46	45		91	15.6	75.4	
13	0065	高田 誠之助	56	53		109	33.6	75.4	
14	0123	島 康三	49	51		100	24.0	76.0	
15	0116	小島 天津	56	56		112	36.0	76.0	
16	0125	甲斐 竹内	48	45		93	16.8	76.2	
17	0038	甲斐 寿三	50	54		104	27.6	76.4	
18	0114	松本 修三	46	51		97	20.4	76.6	
19	0121	岩本 猛	53	49		102	25.2	76.8	
20	0043	瀬戸口 正征	48	46		94	16.8	77.2	
21	0049	岡田 賢二	51	53		104	26.4	77.6	
22	0052	伊藤 彰二郎	56	53		109	31.2	77.8	
23	0055	三田 俊介	46	44		90	12.0	78.0	
24	0050	芦巣 宏	45	51		96	18.0	78.0	
25	0040	伊藤 俊介	43	52		95	16.8	78.2	
26	0054	三田 俊介	44	48		92	13.2	78.8	
27	0048	古長 井平	48	56		104	25.2	78.8	
28	0046	青木 清水	50	53		103	24.0	79.0	
29	0113	谷原 光宏	48	48		96	16.8	79.2	
30	0037	野田 安澄	41	48		89	9.6	79.4	
31	0039	浦地 哲夫	51	53		104	24.0	80.0	
32	0066	河原 月夫	44	47		91	10.8	80.2	
33	0126	角屋 光宏	54	48		102	21.6	80.4	
34	0127	辰野 幸正	48	49		97	15.6	81.4	
35	0119	萩原 茂	57	55		112	30.0	82.0	
36	0057	林 肇	57	59		116	32.4	83.6	
37	0118	森 泰雄	59	56		115	31.2	83.8	
38	0124	澤 博也	55	65		120	36.0	84.0	
39	0044	柳田 雄正	60	58		118	33.6	84.4	
40	0058	鈴尾 弘幸	55	60		115	30.0	85.0	
41	0056	鈴尾 正雄	62	58		120	34.8	85.2	
42	0060	東京六大学OB会	60	70		130	36.0	94.0	

### 特別寄稿

## 健 康 の 話

### OBの皆さんへ、運動のすすめ

サン・アスレチック（株）運動処方員 東山 陽一郎

伝統ある明大柔道部の会報に寄稿できることを喜んでいます。

早速本論に入ります。或る大手のフィットネスクラブの会員一五〇〇人のデータ

によるとふだん自分は「座ったきり」と

「立ったり座ったり」と答えた人が七割を

占め、自分は「活動的」だという人は一割弱に過ぎませんでした。

しかし、この活動的だと思っている人の多くが「非常に体調がいい」と答、前二者の健康感に大きく差をつけているのです。つまり、活動的でやることを十分にこなしている人は、体調に自信を持っているということです。

そういう人は運動に対する積極的な意気込みが感じられます。是非皆さんにも運気も運んでください。

それでは健康のためにはどういう体力が必要かというと、全身持久力、筋力、筋持久力、柔軟性、体構成の四つが上げられます。健康づくりのための運動はこの四つを伸ばすことが大切なのです。

以下特にクラブに入会しなくとも、また器具がなくとも、やる気にさえなれば、すぐに出来るプログラムを紹介しますので、おとろえを感じはじめた方は不調になる前に是非とも実行され往年の若さを蘇らせさせて下さい。

さて、運動するにはそれなりの目的がありますが、運動の必要性は年令や健康度によって変わってきます。中年の人に全身持久力の維持を中心に運動量を確保することが必要ですし、高令になつてくると軽い運動による生活活動力の確保が大事です。

しかし、これは遺伝や運動食などの長期間の習慣の結果といえます。

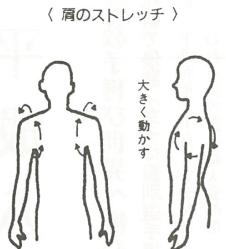
ごみが感じられます。是非皆さんにも運気も運んでください。

### 運動プログラムの実際

実際に使う運動は健康づくりとして柔軟体操（ストレッチング）、有酸素運動、筋力・筋持久力運動をこの順番で実施します。体構成を考えた運動も必要です。体構成というのは、脂肪や筋肉、骨などの形態をいい、特に肥満は成人病の多くに関係しており、体脂肪率（体重に対する脂肪の割合）は重要な指標です。

しかし、これは遺伝や運動食などの長期間の習慣の結果といえます。





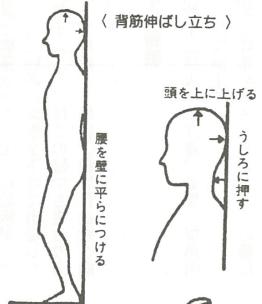
〈腰のストレッチ〉



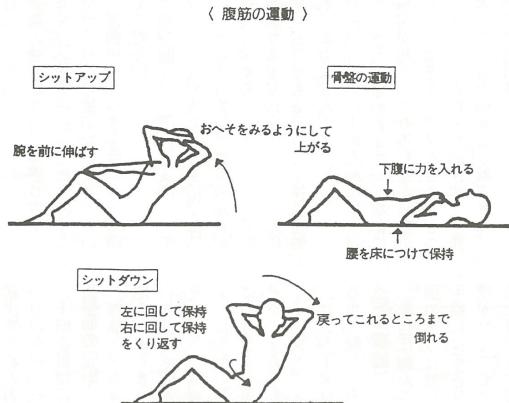
### 〈ふくらはぎのストレッチ〉



## ストレッチング



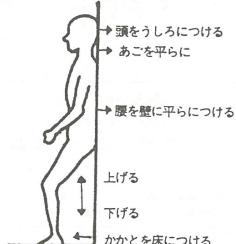
- 47 -



### 〈腕・胸の運動〉



## 筋力・筋持久力の運動



# 平成八年後期の記録

## 阿武教子再び世界へ挑む

72kg級で優勝(女子体重別選手権)

本年(平成九年)十月、フランス(パリ)で行われる世界選手権大会の第一次選考会となる平成八年全国女子柔道体別選手権大会が八月二十七日、秋田市立体育馆で開催された。七二kg級がらマニアス七二kg級に体重を下げる出場した阿武教子(二年)はこの級でも実力の高さを十分に示して優勝、世界再挑戦へ向けてスタートした。

### 準決勝戦

阿武教子(明大)――注意効果――福場由里子(住友海上)

福場は昨年のチャンピオン、この級に初めて出る阿武を別にすれば優勝候補最前列、準決勝までの三勝はみな一本勝からの不調であろう。

の棹尾を飾るべく意を決して臨んだが念願を果すに至らなかつた。上位各校との戦力比較で選手層の薄さはいぜんとして否めないが、各々持ち味を發揮してよく戦つた(重松監督)といえる。

悔いをいえば実力者、妹尾の大会直前

東海の優勝は十二回目、十一回の天理を抜き単独一位になつた。(最多は明治の十四回)。

### 一回戦

明大 7-0 甲南大  
二回戦 明大 7-0 別府大  
三回戦 明大 7-0 国際武道大

準々決勝戦 準々決勝戦

明大 3-3 日体大

準決勝戦

明大 3-2 近畿大

ちである。しかし、阿武はパワー溢れる攻めを身上とする福場を逆に攻め込んで

「場外注意」をとる。ついで大外刈を返して「効果」をとり終始主導権をとつて圧勝、今後、この階級で十分やつていけることを証明した。

### 決勝戦

阿武教子(明大)――有効――吉田早希(筑波大)

吉田は九五年福岡ユーバーシャードのチャンピオン。阿武右吉田左のケンカ組手、一分半ばすぎ両者に「指導」。その後、阿武右切り手でおりながら左一本背負に入れば吉田、ユックリながら大きく転んで「有効」となる。

研究中の左技が大試合で実を結んだ会心の勝利といえよう。

決勝戦 明治は次鋒一年生の高山が「有効」をとつて先行したが、三将同じく一年生の矢部が「一本」を失い、同点ながら内空負けを涙をのみだ。

日本大会の大阪開催は五年目の今年で終了し、来年から部隊は日本武道館に戻る。大阪開催、年に優勝している明治はそ

りも決勝、同点内容差に泣く

全日本学生優勝大会

欲しかったというところ。

### 奥村 技有り(○秋山

両者とも左組み開始早々十九秒秋山、引手の方向へ大きく動く、奥山無造作にこれについていって払い巻をくらう(技有り)。先鋒の戦い方としては軽率だった。

○井上 技有り(小山

圧倒的に攻めながら決め手にかけた井上、四分、組み際の谷落しが決つて技有り。小山完全に消耗して一本負けを防ぐのみ。

○猿渡 大外刈――高橋 開始早々高橋の払い巻で有効をとられた猿渡、三分すぎ左大外刈を豪快に決めた。

### 高山 引き分 岡山

高山は一年生、チームの最重量級で一四〇kgを越す。近大庭もチームの重量で一五五kg。高山勝ちボーリントはそれなかつたが大外刈、小外掛、とよく攻めて鹿庭を防御一方におい込んだ。あと一分

赤井沢 引き分 岡山

岡山は近大の実力選手、赤井沢は内股

イントなく引き分け。明大決勝へ進む。

近大 2-2 日大

東海大 1-1 中大

明大 3-3 日体大

準決勝 (内容勝ち)

東海大 1-1 天理大

決勝戦 東海大学 1-1 明治大学

(内容勝)

奥村俊樹② 引き分 藤田博臣

奥村左、藤田右組み、互いに相手の組手をぎりって十分になれば、両者「注意」を受けてタイムアップ。

○高山一樹① 有効 深川幸太郎

ここは一年生ながら高山には是非勝つもらいたいところ。高山それに応えて序盤から攻勢。三分五〇秒、体重を利した左大外刈で「有効」をとる。そのまま優位に試合を進めて優勢勝ち、明大先攻。

猿渡豚海② 引き分 繁昌久哲  
兩校のポイントゲッター同志、繁昌は中大戦で代表選手にして勝っている。猿



渡は左奥襟を取つてあり、小外刈、谷落しの攻めを見せる、応戦しながらも押されぎみの繁昌は、終盤ついに「指導」を受けたが、粘つて引き分ける。

井上知和③ 引き分 小塚義隆

右の相四つ井上が大内刈、足払い、小塚は大外刈、大内刈を見せる、全般的には井上が勝っているよう見えたが終盤小塚の小内刈で有効が宣せられ取り消してヒヤリ、結局引き分け。

矢部健① 燕返し ○米沢大輔

開始六秒、矢部が組み際で放った右足払いに合せて米沢は左から燕返し、一本となる。一年生の若さが出る。一对一内容で東海リード。

吉永喜史② 引き分 福永智幸

吉永一九二cm、「一四〇kgの体躯を利して内股、払い巻、小外刈、怨とうの攻めを見せる。中盤、技の出ない福山に「指導」時間一ぱいまで吉永は払い巻きを中心に行めポイント奪取を行つたが福山し

のいで引き分け。「指導」の上が出るか、と思ったのだが一。  
赤井沢一晴一引き分 上水研一朗  
赤井沢左内股、大内刈で攻めるが上水も実力者、しかも引き分けでもよしである。計算した戦いが上水クラスになると出来るということだろう。一進一退のまま試合終了。(明大選手丸印内の数字は学年)

## 新日鉄に破れる

全日本団体選抜選手権大会

年

第三〇回全日本選抜団体選手権大会が平成八年十一月三〇日愛知県武道館で行われ、明治は一回戦で地元愛知県警を下したもので新日鉄に破れた。  
決勝は共に実業団選抜の旭化成と新日鉄の間で行われたが、旭化成が優勝を飾った。  
なお、愛知県警察で三人を抜いた井上知和(三年)が大会優秀選手に選ばれた。

新日本製鐵

## 組合せ

優勝 旭化成

8

6

7

4

5

2

3

1

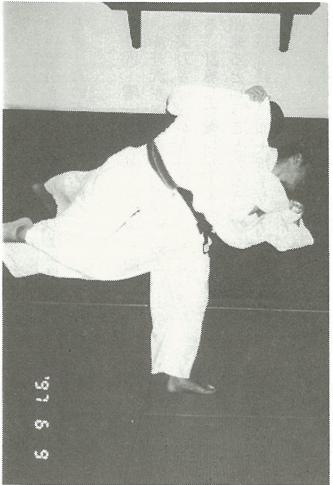
新日本製鐵 大阪府警察 明治大学 愛知県警察 旭化成 東海大学 日本中央競馬会 愛知学院大学 警視庁

# 挙

## 腰

藤原 敬生

私は左技ですが右技のモデルを使って説明します。なお、モデルは取りが野寺真史君、受け中濱真吾君、ともに一年生部員です。

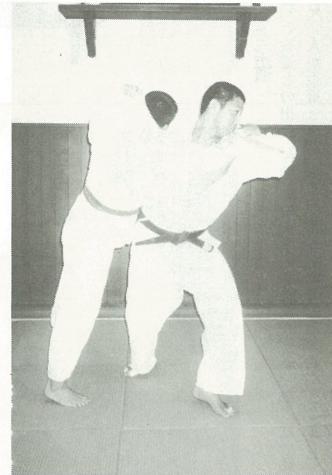


抜きがきまる瞬間（理想的なフォーム）

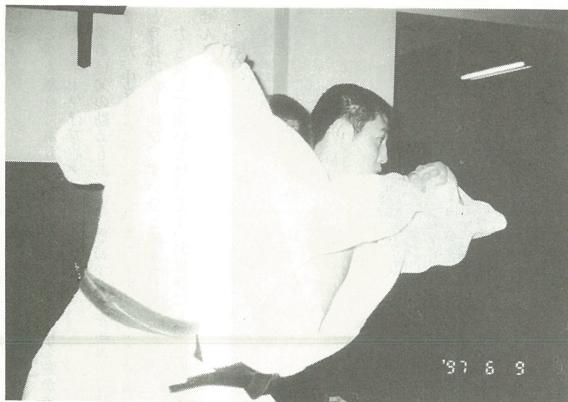
① 右自然体で組んだところ。引き手の位置は肘間接の真下をしっかりと握る。試合や乱取りでは引き手の位置が変わらざるを得ないが、上記の肘下付近をとるのがベストであることを頭にたたき込む事。



② 軸足を思い切って相手の右足前方に踏み込む。つま先の方向と相手との間に注意。



③ 引き手を十分に引き、釣り手とのバランスを保持しながら、相手との密着を心がける。引き手の手首がかえっているところ、また、この時点での引き手の方向は下ではなく横水平であることに留意。



(4) (2)の状態から頭部を中心に体を回転させながら相手の膝下を一気に払う。(5)が最も効果的な位置、(6)は力を口スする位置。以上、得意技といなながら極く基本的な払腰のポイントを述べたに過ぎません。しかし、基本動作を飛びこえた得意技は在り得ないのでですから、あえて細部にわたる説明はせず、基本的な要点をのべるに留めました。

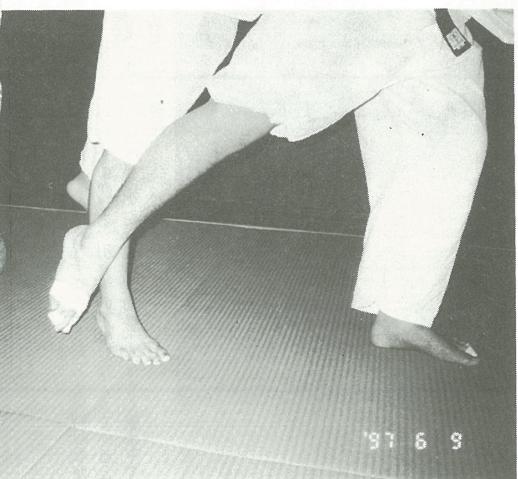


しかし、中学三年生の春、岡山県の紅白試合で七人抜きをとげ、即日昇段することが出来ました。これが刺激となり、この頃より意欲的な稽古に打ち込むよう

私と柔道  
私と柔道との出会いは、中学入学の時であります。歳の近い従兄2人が柔道をやり、また、父も柔道の経験者ということでお自然に柔道の世界に足を踏み入れました。当時（満十二歳）の私は一六七センチメートル五三キログラ



ムと少々細身でありますましたが、とにかく、体を動かす事が大好きでスポーツは万能タイプでした。柔道は父の勧めもあって、最初から「左組み」で練習を始めました。中学卒業時には一八七センチメートル六七キログラムと身長ばかり伸び、ずい分と細身でした。力も決して強いとは言えず、お世辞にも柔道向きとは言えませんでした。



になりました。

明大中野高校に入り、工藤先生の御指導を受けることになりました。インターハイ、国体、また国際大会にも出場できるレベルになりました。以来、中野高校・明治大学・新日本鉄のいまに至るまで柔道とは切っても切れない日々を送っています。全日本選手権大会には7回出ていますが、その都度いたいた神永篠巻先生、上村先輩のアドバイスや同輩、後輩諸君のサポートなどは忘れ得ぬ思い出です。

競技生活二十年の中でも最も印象深い勝負は苦手正木選手を投げた群馬国体での一戦です。東京と奈良県の試合がもつれ代表戦となり、私と、当時天理大研修生として大学にこっていた正木君が対戦しました。互に左がつぶり、正木君が一五〇キログラムの巨体で押し込んでくるハナをとらえて払い腰を放つと思ひもかけず軽々と飛んだのでした。体が自然に動いたといえあの時の感覚は今も忘れることが出来ません。

五十五年度

新日本製鉄

## 平成8年度明柔会事業報告

4/16	定例幹事会	大学会館、出席幹事13名
4/28	明柔会総会	大学会館、出席OB 56名
5/23	スカウト会議	道場、スカウト委員出席
6/4	定例幹事会	大学会館、出席幹事16名
7/1	全日本選手権男女優勝祝賀会	大学会館、出席OB 71名
10/28	定例幹事会	大学会館、出席幹事14名
11/19	緊急幹事会	道場、出席幹事21名
12/2	納会、忘年会	道場、出席OB 31名
1/28	定例幹事会	大学会館、出席幹事11名
3/24	定例幹事会	大学会館、出席幹事15名
	☆会報発行（8年7月）	
	☆新名簿発行（8年8月）	

## 平成9年度奨学金委員会予算（案）

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)  
単位：円

収入		支出	
篤志会員寄付	8,000,000	学費（9名）	7,000,000
		阿武アパート賃料	890,000
計	8,000,000	計	7,890,000

差し引き次年度繰越金 110,000円

◎例年下記の皆様より特別の御寄付を頂いております。

京葉ガス（株）殿	三船芳郎氏（故人）	渡辺欣嗣氏
鳴海誠一氏	高田誠之助氏	杉原 構氏
中野一郎氏	細川隆夫氏	

上記の皆様以外にも、その年度ごとの寄付の呼び掛けに御賛同頂きました。  
少からぬOBの篤志により奨学金委員会は運営されております。  
又、上記予算に不足が出た場合については、新規篤志会員の募集に、よりいつそう務めますが、不調の場合は定期預金を取崩し補填致します。

## 会報《明柔》96号F収支報告

単位：円

収入		支出	
広告料	490,000	印刷費	733,875
明柔会本会計補助	396,465	郵送費	139,300
受取利息	91	振込み手数料	1,442
		写真代	11,939
計	886,556	計	886,556

差引残高 0円

◎上記の通り相違ありません。

平成9年4月17日

会計監査 高田誠之助 ㊞

## 柔道部資金（合宿所建設寄付金剩余金）中間報告

平成9年3月31日現在

◎寄付金総額	132,460,000	A
◎明柔会負担建設費	100,587,390	B
◎柔道部資金	A - B = 31,872,610	C
◎大学より入金学	23,957,765	D
	(90周年式典関係費 3,431,380)	
	(トレーニング機器購入費 5,105,710)	
	(全日本学生大会 713,994)	
◎明柔会口座残高	14,706,681	
◎柔道部資金（大学口座）残高 C - D = 7,914,845		

◎上記の通り相違ありません。

平成9年4月17日

会計監査 高田誠之助 ㊞

## 平成9年度柔道部活動予算内訳（案）

### （1）大会視察（スカウト関係）費

件名	日程	場所	予算額
金鶯旗大会	7月	福岡	200,000
インターハイ	8月		200,000
関東地区スカウト			200,000
関西地区スカウト			200,000
九州地区スカウト			200,000
会議費			200,000
その他地区スカウト			100,000
小計			1,300,000

### （2）学生大会補助

大会名	日程	場所	予算額
東京学生体重別	5月	東京	100,000
東京学生団体	9月	東京	100,000
全日本学生体重別	6月	東京	100,000
全日本学生選手権	10月	東京	100,000
全日本学生団体	11月	東京	100,000
小計			500,000

### （4）強化合宿補助

件名	日程	場所	予算額
夏季合宿	8月	未定	600,000
春季合宿	3月	未定	300,000
小計			900,000

### （5）合宿所、寮費補助

件名	予算額
合宿所補助	600,000
寮費補助	1,500,000
小計	2,100,000

(光熱費等)  
(奨学金対象者寮費補助)

◎総計 4,800,000円

## 平成9年度明柔会予算（案）

(平成9年4月1日～平成10年3月31日)

単位：円

収入	支出
会費（300名） 6,000,000	柔道部活動費 5,220,000
東南貿易（株） 300,000	大会視察費 (1,300,000)
前年度繰越金 1,117,037	学生大会補助 (500,000)
ホッケー部 350,000	強化合宿補助 (900,000)
	合宿所補助 (600,000)
	寮費補助 (1,500,000)
	東京学柔連分担金 (300,000)
	東京学柔連登録料 (120,000)
	明柔会活動費 2,547,037
	慶弔費 (300,000)
	駿台OB会費 (50,000)
	事務通信費 (400,000)
	会報補助（年2回発行） (800,000)
	会議費、その他 (200,000)
	予備費 (797,037)
計 7,767,037	計 7,767,037



## 編集後記

予算不足で遂に前号を休刊しました。いろいろ苦慮しましたが、一般会計にこれ以上いく込む訳にはいきません。会報「明柔」は年一回、十五年続いている訳ですが、資金欠乏による休刊ははじめてです。広告が集まれば解決することです、どうかよろしく。休刊はこのたび限りにしたいものです。

我らが小川直也がプロレスラーに転身しましたグラビアのタイトル通り、新天地での活躍を祈るばかりです。“プロダクションの坂口征二社長ひとつよろしく！”学生たちも応援しています。

百瀬部長が春からケンブリッジ大学に遊学されています。先生留守中の業務の代行は森下正先生です。森下先生は百瀬先生直系の若手気鋭の研究者、柔道は素人の方ですが、幹事会にオブザーバーで出席されたり、道場にも時々顔を出されています。秋にはよい報せをイギリスに発信したいものです。

さて、財政難は会報部門だけではありません。高田委員長のアピールにありますように、よりグレードの高い奨学基金部門もピッチです。新監督就任以来、吉田君が精力的に新人スカウトの現場に出向いていますが他校の実戦攻勢に「予想はしていませんでしたが……」とおどろいています。

学費・寮費の免除はあたりまえそのうえ！」というものだそうです。少子時代を迎え、特に新興校は受験生呼び込みの広告塔づくりに必死ということなのでしょう。

好漢吉田君は「金だけで人はつくれない！」とファイトを燃やしていますが、「その言やよし」としながらも、OB会は現実的な行動をしなければなりません。引き出すかとどうにかに對処してきました。伝統保持にむけて明柔会はがんばります。

(K)

## 総合解体業

株式会社  
**村上工業**

代表取締役 村上光昭

〒272 千葉県市川市原木2393-3  
電話 0473(28)0979代



新日本プロレスリング株  
代表取締役 坂口 征二  
〒106 東京都港区六本木6-4-10  
TEL 03-3405-3111

**泉屋の**

おりつづけて50年 お好みの総合メーカー

株式会社 泉屋製菓本舗 名古屋

「33年度卒 伊藤彰朗」

**紳士・婦人・子供  
各種  
帽子のミヤシタ**

(宮下光男 27年卒)

東京都葛飾区新小岩1-39-9  
新小岩銀座アーケード街  
電話 (3651) 6911

印刷所	○三一三二九五一四八九
発行人	神 田 和 夫
発行所	明治大学体育会柔道部明柔会
事務所	東京都千代田区神田駿河台一
工場	○三一三二九五八一四六三五七

## 株式会社 旭モールディング

常務取締役  
福 田 二 朗  
(S33年卒)

〈プラスチックのご相談は当社まで〉

本社・足立工場  
〒120 東京都足立区宮城1-3-25  
TEL 03(3919)3191(代)

## 中島畜産食品株式会社

代表取締役  
社 長 中島 平人  
(昭和45年度卒)

本社 東京都墨田区太平1丁目6番8号  
〒130 TEL (03) 3625-4125(代)  
FAX (03) 3625-4132

## CK第一企業中央株式会社

系列会社  
第一企業管財株式会社  
箱崎興産株式会社

代表取締役 細川 隆夫  
(38年度卒)

ビル総合管理  
清掃、警備、電気、機械  
その他ビル管理一式

東京都中央卸売市場大田市場

海老・塩干加工品問屋

## 海 老 晃

代表取締役 滝本 満治

## 送電線路建設工事設計施工 高田電設株式会社

取締役社長 高田 喜之  
(昭和30年度卒)

本社 東京都新宿区大久保1-10-4  
電話 03(3209)8241(代表)  
支社・出張所 仙台・名古屋・札幌

## 新和商事株式会社

海老・ふぐ・鮮魚他水産物卸

本社 埼玉県春日部市小渕243  
☎ 0489-61-3980  
支店 埼玉県越谷市流通団地3-2-1  
☎ 0489-85-2084

代表取締役  
社 長 千葉 進三

58年卒 千葉 宏之  
63年卒 本間 一義

〒105 東京都港区浜松町2丁目3番25号  
マスキンビル7F  
電話 03-3578-8123 3代

輸出入・国内取引  
鉄鉱石・その他の銅原材料の輸入及び  
鉄鋼製品の輸出

## 東南貿易株式会社

社長 根本 静夫

千代田区大手町2-6-2 日本ビル6階  
TEL (03) 2771-5

名古屋出張所 〒460-0001 名古屋市中区錦1-1-1

八幡出張所 〒830-0072 福岡市博多区天神3-7-2

尼崎出張所 〒553-0011 大阪府尼崎市大和2-1-1

君津出張所 〒299-0001 千葉県君津市君津2-2

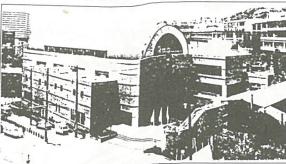
大分出張所 〒870-0025 大分県大分市大分駅前町4-1-1

広島出張所 〒730-0001 広島県広島市中区大門通り4-3-3

大阪営業所 〒542-0049 大阪市北区天王寺2-1-4

TEL (06) 441-1296-7

新しいクラブルライフ、  
アーバンアトラス。  
都市生活の「快適」。



●会員募集中 アブストラクトジム  
スイミングプール 25m 5コース  
スパラッシュ、ラケットボールコート  
エアロビクススタジオNo.1、No.2  
インドアゴルフ  
レスボラン、メンバーズサロン  
スパポートマサージ  
エヌテック他

## タイヤモンド スポーツクラブ アトラス

横浜地下街行株式会社

〒221 横浜市神奈川区沢辯 5番地 Tel.045(324)3600

## 広告募集!!

会報「明柔」は郵便料金の値上げにともなう財源確保のため、新企画の個人広告を掲載することとした。

よろしく御協力の程を!

写真は個人または家族と一緒にるもの

料金 1万円

(担当編集部 浜本義典)

 共同石油株式会社特約店

アスファルト・石油類総合販売

## 株式会社 男鹿興業社

代表取締役社長 国 安 均

本 社 秋田県男鹿市船川港船川字埋立地1-18-2  
TEL (0185) 23-3293(代)

秋田営業所 秋田県秋田市檜山川口境13-7  
TEL (0188) 35-3362



男鹿なまはげ給油所 男鹿市船川港船川字化世沢 178 (0185) 24-3292  
鹿渡なまはげ給油所 山本郡琴丘町鹿渡字西小瀬川 69 (0185) 87-2316  
千秋なまはげ給油所 秋田市千秋矢留町 2-43 (0188) 34-1736  
牛島なまはげ給油所 秋田市仁井田栄町 1-31 (0188) 39-2306

ステーキ&シーフード「パンフ」  
秋田市山王1丁目6-7 / 淀ビル2F (0188) 62-7800

真心サービスで社員一同  
心からお待ちしております。

石

を通してこれからの都市空間を考えます。

(社) 日本国公園施設業協会会員  
(財) 日本造園修景協会会員  
(社) 日本造園コンサルタント協会賛助会員

 株式会社 祐 和

代表取締役 高田 誠之助  
専務取締役 渡辺 昌照  
工務部次長 代田 正俊

本 社 〒104 東京都中央区八丁堀4-10-2 八丁堀ビル  
TEL.03-3553-7201 FAX.03-3553-7235  
横浜営業所 〒221 神奈川県横浜市神奈川区反町4-37-3 ベルハウス横浜反町1103  
TEL.045-312-8244 FAX.045-312-8247  
千葉集配センター 〒277 千葉県東葛飾郡沼南町藤ヶ谷新田字大佛44-1-3  
TEL.0471-93-1651 FAX.0471-93-1651

採石加工所 国内: 岐阜、長野、山梨、山形、群馬  
国外: 韓国、中国

豊かな心で、大きな未来へ。  
21世紀へ向って、着実に成長しています。  
 株式会社 キンショードー

包装用品並びに梱包資材の製造加工

代表取締役 渡辺 欣嗣

本社・工場 東京都北区浮間3丁目5番28号  
〒115 電話 (03) 3964-9317 番  
FAX (03) 3967-9408 番  
神田営業所 東京都千代田区三崎町2丁目21番10号  
〒101 電話 (03) 3262-4635 番

飼料用外国産大麦・恵比須印圧ベニ麦・挽碎麦  
二種混合飼料・コーンフレーク・醸造原料  
製造販売  
金谷塚本食糧工業所  
〒839 福岡県大木市大字大木2420  
☎0946(22)2061~2146 FAX.0946(24)4564  
福岡シティ銀行大木支店  
取引銀行 福岡銀行大木支店  
筑邦銀行大木支店

給食用食品卸  
(株) 富士産業  
代表取締役 谷藤義明  
(34年度卒)

〒173 東京都板橋区大谷口上町44-11  
電話 (03) 3956-9615



MEIJI UNV. JUDO CLUB  
PERIODICALS